

平成 2 2 年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査  
(平成 2 3 年度調査)  
調 査 票 (案)

○ 病院勤務医の負担軽減の状況調査

- ・ 調査概要 . . . . . 1 頁
- ・ 施設票 . . . . . 5 頁
- ・ 医師票 . . . . . 2 4 頁
- ・ 看護職員票(看護師長票) . . . . . 3 5 頁
- ・ 看護職員票(管理職以外) . . . . . 4 2 頁
- ・ 薬剤師病棟業務(施設票) . . . . . 5 4 頁
- ・ 薬剤師病棟業務(医師票) . . . . . 6 0 頁
- ・ 薬剤師病棟業務(薬剤師票) . . . . . 6 2 頁
- ・ 依頼票 . . . . . 6 5 頁

## 「病院勤務医の負担軽減の状況調査」調査の概要（案）

### 調査目的

- ・ 医療機関における加算の算定状況、職員配置、勤務状況、処遇状況等の実態の把握
- ・ 勤務医負担軽減に係る対応策の具体的内容とその効果についての把握
- ・ 薬剤師の病棟配置や病棟業務に係る実態等の把握

### <調査のねらい>

病院勤務医の負担の軽減及び処遇の改善を要件とする項目の算定状況等  
チーム医療に関する項目の算定状況等  
他の医療機関との間の取り組みに関する項目の算定状況等  
看護補助者の配置による看護師・医師の負担軽減への効果等  
看護師の勤務実態について、夜間勤務や長時間連続勤務、勤務形態（2交代制、3交代制）の状況等  
薬剤師の病棟配置の状況や病棟関連業務の実施状況等

### 調査対象及び調査方法

#### <施設調査>

- ・ 「総合入院体制」、「救命救急入院料」、「小児入院管理料」、「ハイリスク分娩管理加算」等、病院勤務医の負担の軽減及び処遇の改善を要件とする項目を算定している保険医療機関（病院）、「栄養サポートチーム加算」、「呼吸ケアチーム加算」、「急性期看護補助体制加算」、「感染防止対策加算」、「医師事務作業補助体制加算」、「薬剤管理指導料」、「医療機器安全管理料」等チーム医療に関する項目を算定している保険医療機関（病院）、「地域連携診療計画管理料」、「地域連携診療計画退院時指導料」、「地域連携夜間・休日診療料等」、他の医療機関との間の取り組みに関する項目を算定している保険医療機関（病院・診療所）のいずれかを算定している保険医療機関、及び 上記のいずれも算定していない保険医療機関の中から無作為抽出した施設それぞれ 1,334 施設を調査対象とする。

#### <医師調査>

- ・ 上記施設調査の対象施設の内科、精神科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、産科、婦人科、救急部門を対象とし、各診療科につき診療科責任者1名、および医師経験年数5年未満の医師1名、5年以上の医師1名の計3名、最大27名を調査対象とする。

#### <看護師調査>

- ・ 上記施設調査の対象施設の入院基本料を算定している各病棟(最大9病棟)について、看護師長1名、看護師経験年数5年未満の看護師1名、5年以上の看護師1名の計3名、最大27名を調査対象とする。

#### <ヒアリング調査>

- ・ 上記施設調査結果に基づき、「チーム医療」を積極的に行っている施設3か所、「長時間連続勤務に対する対策」を積極的に行っている施設3か所、その他勤務医負担軽減策を積極的に行っている施設を3か所の9か所程度実施することを想定している。

#### <薬剤師病棟業務実態調査>

- ・ 施設調査として、上記施設調査の対象施設に、「薬剤管理指導料」を算定している保険医療機関等の中から無作為抽出した500施設を追加した計3,200施設を調査対象とする。
- ・ 医師調査として、上記施設調査の対象施設の勤務医9名を調査対象とする。
- ・ 薬剤師調査として、上記施設調査の対象施設において、病棟に配属されている薬剤師3名を調査対象とする。なお、病棟に薬剤師が配属されていない場合は、対象施設において勤務する薬剤師を対象とする。

#### <調査方法>

- ・ 施設調査は、自記式調査票の郵送配布・回収とする。
- ・ 医師・看護師調査は、自記式調査票で施設調査対象施設において、配布し、施設調査と合わせて回収する。
- ・ 薬剤師病棟業務実態調査については、自記式調査票で施設調査対象施設において同時に配布し、調査票については、別に回収する。

### ■ 調査項目（調査票案 参照）

### ■ 東日本大震災の影響による実施上の対応について

#### 1. 調査票配布時の配慮

(1) 抽出された保険医療機関等のうち、下記の区域等に所在する保険医療機関等に対しては、調査票の発送は行わない。

- ①（社）日本損害保険協会が津波や火災によって甚大な被害（流失や焼失）のあった街区として認定した全損地域
- ② 郵便事業（株）によって郵便物等の配達困難地域となっている区域
- ③ 原子力災害対策特別措置法（平成11年法律第156号）第15条第3項の規定による避難のための立退き又は屋内への退避に係る内閣総理大臣の指示の対象地域となった区域
- ④ 同法第20条第3項の規定による計画的避難区域及び緊急時避難準備区域の設定に係る原子力災害対策本部長の指示の対象となっている区域

(2) 抽出された保険医療機関等のうち、東日本大震災に対処するための特別の財政援助及び助成に関する法律（平成23年法律第40号）第2条第3項に規定する特定被災区域に所在する保険医療機関等に対しては、事前に個別連絡を行い、調査協力の了承を得た上で、調査票の発送を行う。

## 2. 震災の影響を把握するための措置（全国）

東日本大震災の影響により、保険医療機関等に与えている実態を把握するため、調査票の施設情報記入欄に、震災影響について調査する項目を設け、ご協力をいただく。

## 3. 集計・分析時の配慮

(1) 有効回答の集計・分析の際に、被災区域に所在する保険医療機関等のデータを除いた集計を別途行うなどの措置を講ずる。

(2) 保険医療機関等（調査票の配布に当たり配慮を行った区域に所在）の回収できなかったデータの補完については、他省、他部局等の手法等を参考に、別途推計、補完した全国集計を行う。

（例）家計調査：調査票が回収できなかった地域については、東北地方で回収できた調査票を基に推計し、全国の結果として公表

毎月勤労統計調査：全国集計については従前同様の方法で実施しつつも、欠落した調査データによる影響の可能性を付記

(3) その他、東日本大震災の影響の把握を可能な限り行うため、状況の把握を進めつつ、必要な措置を講ずる。

（参考）昨年度検証調査における岩手県、宮城県、福島県の調査客対数

	岩手県	宮城県	福島県	合計	全調査客対数
救急医療等の充実・強化のための見直しの影響調査	18	38	32	88(3.2%)	2,761
外来管理加算の要件見直し及び地域医療貢献加算創設の影響調査	31	58	53	142(3.9%)	3,600
歯科技工加算創設の影響調査	43	34	46	123(6.2%)	2,000
後発医薬品の使用状況調査	44	82	79	205(4.1%)	5,000
明細書発行原則義務化後の実施状況調査	53	81	60	223(4.1%)	5,500

## 調査スケジュール

	平成23年									
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月～3月	
調査の設計・調査票の作成	→									
調査客体の選定		→								
調査票等の印刷・封入			中医協の了承 → (1週間程度)							
調査実施				→ (8月上旬発送、9月上旬〆切、督促、督促後の〆切:9月下旬頃)						
督促					→					
調査票回収・検票				→						
データ入力 データクリーニング					→					
集計・分析						→				
調査結果作成（速報）							→ 報告			
追加分析・調査結果作成								→ 報告		
調査検討委員会開催		★				★				

診療報酬改定の結果検証に係る調査（平成23年度調査）  
**病院勤務医の負担軽減の状況調査**

- 特に指定がある場合を除いて、平成23年〇月〇日現在の状況についてお答えください。
- 数値を記入する設問で、該当するもの・施設等が無い場合は「0」（ゼロ）をご記入ください。

■本調査票のご記入日・ご記入者について下表にご記入下さい。

調査票ご記入日	平成23年（      ）月（      ）日		
ご記入担当者名			
ご所属・職位			
連絡先電話番号		連絡先FAX番号	

■貴院の概況についてお伺いします。

問1 貴院の**開設者**について該当するものをお選びください。（○は1つ）

- 01 国（厚生労働省,独立行政法人国立病院機構,国立大学法人,独立行政法人労働者健康福祉機構 等）
- 02 公立（都道府県,市町村,一部事務組合）
- 03 公的（日赤,済生会,北海道社会事業協会,厚生連,国民健康保険団体連合会）
- 04 社会保険関係団体（全国社会保険協会連合会,厚生年金事業振興団,船員保険会,健康保険組合,共済組合,国民健康保険組合）
- 05 医療法人
- 06 個人
- 07 その他（公益法人,私立学校法人,社会福祉法人,医療生協,会社 等）

問2 貴院の**施設認定等の状況**について該当するもの全てに○をつけてください。

- |                  |                      |
|------------------|----------------------|
| 01 高度救命救急センター    | 07 特定機能病院            |
| 02 救命救急センター      | 08 DPC対象病院           |
| 03 災害拠点病院        | 09 DPC準備病院           |
| 04 総合周産期母子医療センター | 10 地域医療支援病院          |
| 05 地域周産期母子医療センター | 11 専門病院 <sup>注</sup> |
| 06 小児救急医療拠点病院    |                      |

注. **専門病院**とは、主として悪性腫瘍、循環器疾患等の患者を入院させる保険医療機関であって高度かつ専門的な医療を行っているものとして地方厚生（支）局長に届け出たものをいいます。

問3 貴院で平成23年〇月〇日時点に届出を行っている一般病棟の入院基本料として該当するもの全てにチェック (☑) をつけてください。	
1 一般病棟入院基本料	<input type="checkbox"/> 7対1 <input type="checkbox"/> 10対1 <input type="checkbox"/> 13対1 <input type="checkbox"/> 15対1 <input type="checkbox"/> 特別入院基本料 <input type="checkbox"/> 7対1 特別入院基本料 <input type="checkbox"/> 10対1 特別入院基本料
2 特定機能病院入院基本料	<input type="checkbox"/> 7対1 <input type="checkbox"/> 10対1
3 専門病院入院基本料	<input type="checkbox"/> 7対1 <input type="checkbox"/> 10対1 <input type="checkbox"/> 13対1

問4 貴院が標榜している診療科について該当する番号全てに○をつけてください。			
01 内科	02 外科	03 整形外科	04 脳神経外科
05 小児科	06 産婦人科	07 呼吸器外科	08 消化器外科
09 循環器科	10 精神科	11 眼科	12 耳鼻咽喉科
13 泌尿器科	14 皮膚科	15 救急科	16 麻酔科
17 歯科 (歯科口腔外科等)	18 その他 ( )		

問5 貴院での時間外選定療養費 <sup>注</sup> の有無について該当するものをお選びください。(○は1つ)	
01 時間外選定療養費を取っている	02 時間外選定療養費を取っていない

注. 緊急の必要性はないが患者が自己の都合により時間外診察を希望した場合に患者から費用徴収するもので、緊急やむを得ない事情による時間外の受診に対する時間外加算とは異なる。

問6 貴院で平成21年〇月中および23年〇月中に算定した診療報酬について、施設基準の届出の有無、〇月1カ月間の算定件数をご記入ください。					
		平成21年〇月		平成23年〇月	
		届出の有無	算定件数	届出の有無	算定件数
入院料加算	入院時医学管理加算	01有 02無	件		
	総合入院体制加算			01有 02無	件
	ハイリスク分娩管理加算	01有 02無	件	01有 02無	件
	栄養サポートチーム加算			01有 02無	件
	呼吸ケアチーム加算			01有 02無	件
	急性期看護補助体制加算1			01有 02無	件
	急性期看護補助体制加算2			01有 02無	件
	医師事務作業補助体制加算	01有 02無	件	01有 02無	件
特定入院料	小児入院医療管理料1	01有 02無	件	01有 02無	件
	小児入院医療管理料2	01有 02無	件	01有 02無	件
	救命救急入院料1	01有 02無	件	01有 02無	件
	救命救急入院料2	01有 02無	件	01有 02無	件
	救命救急入院料3			01有 02無	件
	救命救急入院料4			01有 02無	件
その他	薬剤管理指導料	01有 02無	件	01有 02無	件
	医療機器安全管理料	01有 02無	件	01有 02無	件
	地域連携診療計画管理料	01有 02無	件	01有 02無	件
	地域連携診療計画退院時指導料	01有 02無	件		
	地域連携診療計画退院時指導料 (I)			01有 02無	件
	地域連携診療計画退院時指導料 (II)			01有 02無	件
	地域連携・夜間休日診療料			01有 02無	件

問7 平成21年〇月時点、平成23年〇月時点で医師事務作業補助体制加算を算定している場合、医師事務作業補助者の配置状況について該当するものにチェック (☑) をつけてください。							
平成21年〇月				平成23年〇月			
<input type="checkbox"/> 100対1	<input type="checkbox"/> 75対1	<input type="checkbox"/> 50対1	<input type="checkbox"/> 25対1	<input type="checkbox"/> 100対1	<input type="checkbox"/> 75対1	<input type="checkbox"/> 50対1	<input type="checkbox"/> 25対1
				<input type="checkbox"/> 20対1	<input type="checkbox"/> 15対1		

■貴院の許可病床数、病床利用率、平均在院日数の状況についてお伺いします。

問8 貴院の平成21年〇月〇日時点、平成23年〇月〇日時点の許可病床数、稼働病床数、および平成21年〇月～〇月、平成23年〇月～〇月の病床利用率、平均在院日数をご記入ください。									
	平成21年				平成23年				
	〇月〇日		〇月～〇月		〇月〇日		〇月～〇月		
	許可 病床数	稼働 病床数	病床 利用率 <sup>注1</sup> (小数点第1位まで)	平均在院 日数 <sup>注2</sup> (小数点第1位まで)	許可 病床数	稼働 病床数	病床 利用率 <sup>注1</sup> (小数点第1位まで)	平均在院 日数 <sup>注2</sup> (小数点第1位まで)	
1 一般病床	床	床	%	日	床	床	%	日	
2 療養病床	床	床			床	床			
3 精神病床	床	床			床	床			
4 結核病床	床	床			床	床			
5 感染症病床	床	床			床	床			

注1. 病床利用率は平成21年〇月～〇月、平成23年〇月～〇月のそれぞれ3カ月の病床利用率をご記入ください。

$$\text{病床利用率} = \frac{\text{〇月～〇月の在院患者延べ数}}{\text{(月間日数} \times \text{月末許可病床数) の〇月～〇月の合計}}$$

注2. 平均在院日数は平成21年〇月～〇月、平成23年〇月～〇月のそれぞれ3カ月の平均在院日数をご記入ください。

$$\text{平均在院日数} = \frac{\text{〇月～〇月の在院患者延べ数}}{\text{(〇～〇月の新入院患者数} + \text{〇～〇月の退院患者数) } \times 0.5}$$

■貴院における入院・外来患者についてお伺いします。

問9 平成21年〇月、平成23年〇月の各1カ月間における貴院の入院延べ患者数、外来延べ患者数、手術件数、分娩件数について、それぞれ該当する人数、件数をご記入ください。		
	平成21年〇月	平成23年〇月
<b>入院延べ患者数</b>	人	人
① 一般病棟における入院延べ患者数	人	人
② 時間外・休日・深夜に入院した延べ患者数	人	人
③ 救急搬送により緊急入院した延べ患者数	人	人
④ 新入院患者数	人	人
⑤ 退院患者数	人	人
<b>外来延べ患者数</b>	人	人
① 初診の外来患者数	人	人
② 再診の外来患者数	人	人
③ 緊急自動車等により搬送された延べ患者数	人	人
④ 時間外・休日・深夜加算の算定件数	件	件
⑤ 時間外選定療養費 <sup>注</sup> の算定件数	件	件
<b>手術件数</b>	件	件
① 緊急手術件数	件	件
② 全身麻酔件数	件	件
③ 小児手術件数	件	件
<b>分娩件数</b>	件	件

注. 緊急の必要性はないが患者が自己の都合により時間外診察を希望した場合に患者から費用徴収するもので、緊急やむを得ない事情による時間外の受診に対する時間外加算とは異なる。



■貴院における勤務医等の状況についてお伺いします。

問 10 貴院における勤務形態について該当するものをお選びください。(○はいくつでも)	
医師の勤務形態	01 主治医制 <sup>注1</sup> 02 交代勤務制 <sup>注2</sup> 03 その他 ( )
病棟看護職員の勤務形態	01 2交代制 <sup>注3</sup> 02 変則2交代制 <sup>注4</sup> 03 3交代制 <sup>注5</sup>
	04 変則3交代制 <sup>注6</sup> 05 日勤のみ 06 夜勤のみ
	07 短時間勤務 08 その他 ( )

- 注1. 主治医制度：勤務が交代しても主治医が替わらない制度。  
 注2. 交代勤務制：勤務の交代に伴い主治医が替わる制度。  
 注3. 2交代制：日勤・夜勤が12時間ずつの交代勤務。  
 注4. 変則2交代制：日勤8時間、夜勤16時間等といった日勤・夜勤の各勤務帯の勤務時間の長さが異なる交代勤務。  
 注5. 3交代制：日勤・準夜勤・深夜勤が8時間ずつの交代勤務。  
 注6. 変則3交代制：日勤9時間、準夜勤7時間、深夜勤8時間等といった日勤・準夜勤・深夜勤の各勤務帯の勤務時間の長さが異なる交代勤務。

問 11 貴院における平成21年〇月〇日時点、平成23年〇月〇日時点で雇用している診療科別医師の常勤・非常勤(常勤換算人数 <sup>注</sup> )の職員数をご記入ください。						
	平成21年〇月末			平成23年〇月末		
	常勤医師	うち女性	非常勤医師	常勤医師	うち女性	非常勤医師
総計	人	人	人	人	人	人
【再掲】診療科別	常勤医師	うち女性	非常勤医師	常勤医師	うち女性	非常勤医師
1) 内科	人	人	人	人	人	人
2) 外科	人	人	人	人	人	人
3) 整形外科	人	人	人	人	人	人
4) 脳神経外科	人	人	人	人	人	人
5) 小児科	人	人	人	人	人	人
6) 産婦人科	人	人	人	人	人	人
7) 呼吸器外科	人	人	人	人	人	人
8) 消化器外科	人	人	人	人	人	人
9) 循環器科	人	人	人	人	人	人
10) 精神科	人	人	人	人	人	人
11) 眼科	人	人	人	人	人	人
12) 耳鼻咽喉科	人	人	人	人	人	人
13) 泌尿器科	人	人	人	人	人	人
14) 皮膚科	人	人	人	人	人	人
15) 救急科	人	人	人	人	人	人
16) 麻酔科	人	人	人	人	人	人
17) その他	人	人	人	人	人	人

- 注. 非常勤医師の常勤換算の計算方法：  
 貴施設の1週間の所定勤務時間を基本として、下記のように常勤換算して小数第一位までご記入下さい。  
 例：1週間の所定勤務時間が40時間の病院で、週4日(各日5時間)勤務の医師が1人いる場合  

$$\text{非常勤医師数} = \frac{4 \text{日} \times 5 \text{時間} \times 1 \text{人}}{40 \text{時間}} = 0.5 \text{人}$$

**問12 貴院における平成21年〇月〇日時点、平成23年〇月〇日時点で雇用している歯科医師、看護職員、薬剤師等の常勤、非常勤（常勤換算人数<sup>注1</sup>）別の職員数をご記入ください。**

	平成21年〇月末		平成23年〇月末	
	常勤	非常勤	常勤	非常勤
歯科医師	人	人	人	人
看護師	人	人	人	人
【再掲】一般病棟	人	人	人	人
【再掲】療養病棟	人	人	人	人
【再掲】精神病棟	人	人	人	人
【再掲】結核病棟	人	人	人	人
助産師	人	人	人	人
保健師	人	人	人	人
准看護師	人	人	人	人
看護補助者 <sup>注2</sup>	人	人	人	人
薬剤師	人	人	人	人
医師事務作業補助者	人	人	人	人
ソーシャルワーカー（社会福祉士等）	人	人	人	人

注1. 非常勤職員の常勤換算の計算方法：

貴施設の1週間の所定勤務時間を基本として、下記のように常勤換算して小数第一位までご記入下さい。

例：1週間の所定勤務時間が40時間の病院で、週4日（各日5時間）勤務の事務職員が1人いる場合

$$\text{非常勤事務職員数} = \frac{4 \text{日} \times 5 \text{時間} \times 1 \text{人}}{40 \text{時間}} = 0.5 \text{人}$$

注2. **看護補助者**：看護師長及び看護職員の指導の下に、原則として療養生活上の世話のほか、病室内の環境整備、ベッドメイキング、看護用品及び消耗品の整理整頓等の業務を行うもの。

**問13 貴院における平成21年度、平成22年度の看護職員の離職率<sup>注</sup>をご記入ください。（小数点第1位まで）**

	平成21年度	平成22年度
看護職員の離職率	%	%

注. **離職率**の計算方法：年度の退職者数が職員数に占める割合とし、下記のように小数第一位までご記入下さい。

$$\text{看護職員の離職率} = \frac{\text{（当該年度中の退職者数）}}{\text{（当該年度4月1日時点の看護職員数）}} \times 100$$

問14 貴院における平成21年〇月、平成23年〇月の各1ヶ月間における常勤医師1人あたりの月平均勤務時間、残業時間をご記入ください。(小数点第1位まで)

	平成21年〇月		平成23年〇月	
	勤務時間 <sup>注1</sup>	(うち) 残業時間 <sup>注2</sup>	勤務時間	(うち) 残業時間
総計	時間	時間	時間	時間
【再掲】診療科別	勤務時間	(うち) 残業時間	勤務時間	(うち) 残業時間
1) 内科	時間	時間	時間	時間
2) 外科	時間	時間	時間	時間
3) 整形外科	時間	時間	時間	時間
4) 脳神経外科	時間	時間	時間	時間
5) 小児科	時間	時間	時間	時間
6) 産婦人科	時間	時間	時間	時間
7) 呼吸器外科	時間	時間	時間	時間
8) 消化器外科	時間	時間	時間	時間
9) 循環器科	時間	時間	時間	時間
10) 精神科	時間	時間	時間	時間
11) 眼科	時間	時間	時間	時間
12) 耳鼻咽喉科	時間	時間	時間	時間
13) 泌尿器科	時間	時間	時間	時間
14) 皮膚科	時間	時間	時間	時間
15) 救急科	時間	時間	時間	時間
16) 麻酔科	時間	時間	時間	時間
17) その他	時間	時間	時間	時間

注1. 勤務時間：勤務時間として給与を支払った時間。

注2. 残業時間：時間外労働として計上し、残業代（残業手当）を支払った勤務時間。

問15 貴院における平成21年〇月、平成23年〇月の各1ヶ月間における常勤医師および非常勤医師の延べ当直回数 <sup>注1</sup> 、延べ連続当直回数 <sup>注2</sup> をご記入ください。(小数点第1位まで)									
	平成21年〇月				平成23年〇月				
	延べ当直回数		延べ連続当直回数		延べ当直回数		延べ連続当直回数		
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	
総計	回	回	回	回	回	回	回	回	
【再掲】診療科別	延べ当直回数		延べ連続当直回数		延べ当直回数		延べ連続当直回数		
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	
1) 内科	回	回	回	回	回	回	回	回	
2) 外科	回	回	回	回	回	回	回	回	
3) 整形外科	回	回	回	回	回	回	回	回	
4) 脳神経外科	回	回	回	回	回	回	回	回	
5) 小児科	回	回	回	回	回	回	回	回	
6) 産婦人科	回	回	回	回	回	回	回	回	
7) 呼吸器外科	回	回	回	回	回	回	回	回	
8) 消化器外科	回	回	回	回	回	回	回	回	
9) 循環器科	回	回	回	回	回	回	回	回	
10) 精神科	回	回	回	回	回	回	回	回	
11) 眼科	回	回	回	回	回	回	回	回	
12) 耳鼻咽喉科	回	回	回	回	回	回	回	回	
13) 泌尿器科	回	回	回	回	回	回	回	回	
14) 皮膚科	回	回	回	回	回	回	回	回	
15) 救急科	回	回	回	回	回	回	回	回	
16) 麻酔科	回	回	回	回	回	回	回	回	
17) その他	回	回	回	回	回	回	回	回	

注1. 延べ当直回数：各医師の当直回数を合計したもの。

例：常勤医師Aが1回、医師Bが2回、医師Cが3回、医師Dが2回当直を行った場合、

延べ当直回数=1+2+3+2=7回

注2. 連続当直回数：当直翌日に当直が入っている日数。

※土曜日・日曜日の日直はそれぞれ1回と数える。

問16 貴院における平成21年〇月、平成23年〇月の看護職員（常勤）の所定労働時間、および看護職員1人あたりの勤務時間、残業時間、夜勤時間をご記入ください。(小数点第1位まで)		
所定労働時間	平成21年〇月	平成23年〇月
常勤職員の所定労働時間/週	時間	時間
短時間正職員勤務者の所定労働時間/週 <sup>注</sup>	時間	時間
短時間正職員勤務者の所定労働時間/週 <sup>注</sup>	時間	時間
短時間正職員勤務者の所定労働時間/週 <sup>注</sup>	時間	時間
勤務時間実績	平成21年〇月	平成23年〇月
(実績) 職員1人当たり平均勤務時間/月	時間	時間
(実績) 職員1人当たり平均夜勤時間/月	時間	時間
(実績) 職員1人当たり平均残業時間/月	時間	時間

注. 短時間正職員とは、フルタイムの正職員よりその所定労働時間（所定労働日数）が短い職員を指します。

短時間正職員の所定労働時間のパターンが複数ある場合には、それぞれご記入ください。

問17 貴院では、平成22年4月以降、**医師の経済面の処遇**について、変化がありましたか。該当する番号に○をつけてください。

**① 昇格以外の理由での基本給**

変更の有無		変更した場合の対象範囲
01 増額した	⇒	1 医師全員 2 特定の診療科（該当する診療科の番号全てに○ [下欄参照]） [ 01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16 17 18（具体的内容を記入： ） ] 3 特定の医師（具体的内容を記入： ）
02 減額した	⇒	1 医師全員 2 特定の診療科（該当する診療科の番号全てに○ [下欄参照]） [ 01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16 17 18（具体的内容を記入： ） ] 3 特定の医師（具体的内容を記入： ） 具体的内容・減額の理由 [ ]
03 変わらない		

**② 昇格以外の理由での賞与**

変更の有無		変更した場合の対象範囲
01 増額した	⇒	1 医師全員 2 特定の診療科（該当する診療科の番号全てに○ [下欄参照]） [ 01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16 17 18（具体的内容を記入： ） ] 3 特定の医師（具体的内容を記入： ）
02 減額した	⇒	1 医師全員 2 特定の診療科（該当する診療科の番号全てに○ [下欄参照]） [ 01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16 17 18（具体的内容を記入： ） ] 3 特定の医師（具体的内容を記入： ） 具体的内容・減額の理由 [ ]
03 変わらない		

**【問 17 診療科番号】**

01 内科	02 外科	03 整形外科	04 脳神経外科	05 小児科	06 産婦人科
07 呼吸器外科	08 消化器外科	09 循環器科	10 精神科	11 眼科	12 耳鼻咽喉科
13 泌尿器科	14 皮膚科	15 救急科	16 麻酔科	17 歯科	18 その他

（次ページに続きます）

③ 昇格以外の理由での手術や当直等の勤務手当	
変更の有無	変更した場合の対象範囲
01 増額した ⇒	1 医師全員 2 特定の診療科（該当する診療科の番号に○ [下欄参照]） [ 01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16 17 18（具体的内容を記入： ） ] 3 特定の医師（具体的内容を記入： ） 具体的内容（○○手当の新設等） [ ]
02 減額した ⇒	1 医師全員 2 特定の診療科（該当診療科の番号に○ [下欄参照]） [ 01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16 17 18（具体的内容を記入： ） ] 3 特定の医師（具体的内容を記入： ） 具体的内容・減額の理由 [ ]
03 変わらない	
④ その他経済的処遇	
01 変更あり ⇒	[ 具体的内容： ]
02 変更なし	

**【問 17 診療科番号】**

01 内科	02 外科	03 整形外科	04 脳神経外科	05 小児科	06 産婦人科
07 呼吸器外科	08 消化器外科	09 循環器科	10 精神科	11 眼科	12 耳鼻咽喉科
13 泌尿器科	14 皮膚科	15 救急科	16 麻酔科	17 歯科	18 その他

問 18 貴院では、平成22年4月以降、**看護職員の経済面の処遇**について、変化がありましたか。該当する番号に○をつけてください。

**①昇格以外の理由での基本給**

変更の有無		変更した場合の対象範囲
01 増額した	⇒	1 看護職員全員 2 特定の看護職員（具体的内容を記入： ） 3 その他（具体的内容を記入： ）
02 減額した	⇒	1 看護職員全員 2 特定の看護職員（具体的内容を記入： ） 3 その他（具体的内容を記入： ） 具体的内容・減額の理由 〔 〕
03 変わらない		

**②昇格以外の理由での賞与**

変更の有無		変更した場合の対象範囲
01 増額した	⇒	1 看護職員全員 2 特定の看護職員（具体的内容を記入： ） 3 その他（具体的内容を記入： ）
02 減額した	⇒	1 看護職員全員 2 特定の看護職員（具体的内容を記入： ） 3 その他（具体的内容を記入： ） 具体的内容・減額の理由 〔 〕
03 変わらない		

**③昇格以外の理由で夜勤手当等の勤務手当**

変更の有無		変更した場合の対象範囲
01 増額した	⇒	1 看護職員全員 2 特定の看護職員（具体的内容を記入： ） 3 その他（具体的内容を記入： ） 具体的内容（〇〇手当の新設等） 〔 〕
02 減額した	⇒	1 看護職員全員 2 特定の看護職員（具体的内容を記入： ） 3 その他（具体的内容を記入： ） 具体的内容・減額の理由 〔 〕
03 変わらない		

**④その他経済的処遇**

01 変更あり ⇒	〔 具体的内容： 〕
02 変更なし	

問 19 貴院での平成21年度、平成22年度における医師、看護職員の公休 <sup>注1</sup> 有給休暇および特別休暇 <sup>注2</sup> の付与日数、取得日数、休暇取得率をご記入ください。(小数点第1位まで)			
		平成21年度	平成22年度
医師	職員1人当たりの平均有給休暇付与日数	( ) 日	( ) 日
	職員1人当たりの平均有給休暇取得日数	( ) 日	( ) 日
	有給休暇取得率 <sup>注3</sup>	( ) %	( ) %
	法定休暇 <sup>注4</sup> の取得人数	( ) 人	( ) 人
	職員1人当たりの平均特別休暇付与日数	( ) 日	( ) 日
	職員1人当たりの平均特別休暇取得日数	( ) 日	( ) 日
	特別休暇取得率 <sup>注5</sup>	( ) %	( ) %
	病欠者数	( ) 人	( ) 人
	平均傷病休暇取得日数	( ) 日	( ) 日
看護職員	職員1人当たりの平均公休付与日数	( ) 日	( ) 日
	職員1人当たりの平均公休取得日数	( ) 日	( ) 日
	公休取得率 <sup>注6</sup>	( ) %	( ) %
	職員1人当たりの平均有給休暇付与日数	( ) 日	( ) 日
	職員1人当たりの平均有給休暇取得日数	( ) 日	( ) 日
	有給休暇取得率	( ) %	( ) %
	法定休暇の取得人数	( ) 人	( ) 人
	職員1人当たりの平均特別休暇付与日数	( ) 日	( ) 日
	職員1人当たりの平均特別休暇取得日数	( ) 日	( ) 日
	特別休暇取得率	( ) %	( ) %
	病欠者数	( ) 人	( ) 人
	平均傷病休暇取得日数	( ) 日	( ) 日

注1. **公休**：貴施設で予め指定して労働者に付与する休日のことです。

注2. **特別休暇**：法定休暇（注4参照）以外の休暇で、就業規則等により組織において任意で規定されるものです。夏季休暇・年末年始休暇・慶弔休暇・法定休暇を超える期間の育児・介護・子の看護休暇、リフレッシュ休暇、ボランティア休暇などが定められる場合があります。

注3. **有給休暇取得率**：貴施設で勤務されている有給休暇付与対象者について、下記のように計算して小数第一位までご記入下さい。  

$$\text{有給休暇取得率} = \frac{\text{有給休暇取得日数の総数}}{\text{当該年度の有給休暇付与日数（繰越日数は除く）の総数}} \times 100$$

注4. **法定休暇**：法律で付与義務が定められている休暇をさします。年次有給休暇・産前産後休暇・生理休暇（労働基準法）、育児・介護休業・看護休暇（育児・介護休業法）、通院休暇（男女雇用機会均等法・母子保健法）が含まれますが、年次有給休暇については別に回答欄を設けていますので、今回の回答では除いてください。

注5. **特別休暇取得率**：貴施設で勤務されている特別休暇付与対象者について、下記のように計算して小数第一位までご記入下さい。  

$$\text{特別休暇取得率} = \frac{\text{特別休暇取得日数の総数}}{\text{当該年度の特別休暇付与日数（繰越日数は除く）の総数}} \times 100$$

注6. **公休取得率**：貴施設で勤務されている公休付与対象者について、下記のように計算して小数第一位までご記入下さい。  

$$\text{公休取得率} = \frac{\text{公休取得日数の総数}}{\text{当該年度の公休付与日数（繰越日数は除く）の総数}} \times 100$$

問 20 貴院には職員が利用できる <b>院内保育施設</b> がありますか。院内保育施設がある施設におかれましては、 <b>休日保育・病児保育</b> のうち実施しているものがあればそれぞれ○をつけてください。	
01 ある（→休日保育・病児保育）	02 ない（→問 21 へ）

問 20-1 平成23年○月○日時点の**院内保育施設の利用状況**についてご記入ください。

① 院内保育施設の利用希望人数	( ) 人
② 院内保育施設の利用人数	医師 ( ) 人 看護職員 ( ) 人 その他医療従事者 ( ) 人 事務職員 ( ) 人



■貴院における勤務医・看護職員の負担軽減策の対応状況についてお伺いします。

平成 22 年度診療報酬改定では、病院勤務医の負担軽減および処遇改善につながるよう、病院勤務医の負担の軽減及び処遇の改善に資する体制を要件とする項目を拡大しました。

勤務医の負担軽減につながる 取り組みを評価したもの	医師事務作業補助体制加算 栄養サポートチーム加算	急性期看護補助体制加算 呼吸ケアチーム加算
勤務医の負担の軽減および処遇の改善 に資する体制を要件としたもの	総合入院体制加算 救命救急入院料（注 3 加算）	ハイリスク分娩管理加算 小児入院医学管理料 1・2

以下では、これら診療報酬改定によって病院勤務医の負担の軽減および処遇改善の取り組みが促進されたかどうかについて、お伺いいたします。

≫ ≫ 上記診療報酬項目の算定要件である「病院勤務医の負担の軽減及び処遇の改善に対する体制」についてお伺いします。（診療報酬項目の算定の有無に関わらず、全ての施設にお伺いいたします。）

問 21 貴院では、勤務医の負担の軽減および処遇の改善に資する計画またはそれに準ずるものを策定していますか。

01 平成 20 年度診療報酬改定に伴い計画を策定している
02 平成 22 年度診療報酬改定に伴い計画を策定している
03 診療報酬改定に関わらず計画を策定している
04 現在策定中である
05 今後策定する予定である
06 策定する予定はない

問 22 貴院では、勤務医の勤務時間および業務量を把握していますか。把握している場合は、その把握方法についてもご回答ください。

勤務時間	01 把握している ⇒	把握方法：	11 タイムレコーダー等での把握
	02 把握していない		12 医師による自己申告での把握
業務量	01 把握している ⇒	把握方法：	11 医師による自己申告での把握
	02 把握していない		12 タイムスタディ等調査の実施
			13 その他（ ）

問 23 貴院での、勤務医の負担軽減策の取り組み状況をお伺いします。  
 (1) 平成23年〇月時点において、各負担軽減策の取り組み状況について、該当する番号にそれぞれ〇をつけてください。(それぞれ〇は1つ)  
 (2) 上記(1)において「02 取り組んでいないが今後取り組む予定である」または「03 取り組んでいる」と回答した取り組みについて、平成22年度診療報酬改定をきっかけとして今後取り組む予定としたもの、もしくは取り組み始めたものに〇をつけてください。

	(1) 取り組み状況			⇒ 02 又は 03 の場合	(2) 平成 22 年 度診療報酬 改定を機に 取り組んだ 場合に〇
	01 予定はない 今後 も取り組む 予定 はない	02 今後 取り組む 予定 である	03 取り組 んでいる		
1 看護職員との業務分担	01	02	03	⇒	
2 薬剤師との業務分担	01	02	03	⇒	
3 その他コメディカルとの業務分担	01	02	03	⇒	
4 医師事務作業補助体制	01	02	03	⇒	
5 短時間正規雇用の医師の活用	01	02	03	⇒	
6 地域の他の医療機関との連携体制	01	02	03	⇒	
7 交代勤務制の導入	01	02	03	⇒	
8 連続当直を行わない勤務シフトの導入	01	02	03	⇒	
9 当直翌日の通常業務に係る配慮	01	02	03	⇒	
10 特定個人に集中しない業務配分	01	02	03	⇒	
11 外来縮小の取り組み	01	02	03	⇒	
12 その他 ( )	01	02	03	⇒	
13 その他 ( )	01	02	03	⇒	
14 その他 ( )	01	02	03	⇒	

問 24 外来縮小に向けた地域での取り組みとして、どのような取り組みを実施していますか。  
 (〇はいくつでも)

01 地域の診療所等へのかかりつけ医制度の依頼	02 地域の拠点病院では専門外来を中心に実施
03 地域のかかりつけ医との共同診療カードの導入	04 医療画像伝送ネットワークの構築
05 他施設との共通の電子カルテの導入	06 地域連携のための勉強会や病院訪問活動等
07 かかりつけ医の普及促進のための広報	08 特に実施していない
09 その他 ( )	

**問 25** 各取り組みのうち、**勤務医の負担軽減に効果があったもの**はどれですか。(〇はいくつでも)

01 医師・看護職員の業務分担	02 医師・薬剤師との業務分担
03 医師・その他コメディカルとの業務分担	04 医師事務作業補助体制
05 短時間正規雇用医師の活用	06 地域の他の医療機関との連携体制
07 交代勤務制度の導入	08 連続当直を行わない勤務シフト
09 当直翌日の通常業務に係る配慮	10 特定個人に集中しない業務配分
11 外来縮小の取り組み	12 その他 ( )

**問 26** 以下の診療報酬項目は、病院勤務医の負担の軽減及び処遇の改善に資する体制を要件としています。これら診療項目は、**勤務医の負担軽減の取り組みの促進**に効果があると考えますか。効果があると思えるものに〇をつけてください。(〇はいくつでも)

勤務医の負担軽減につながる取り組みを評価したもの	01 医師事務作業補助体制加算	02 急性期看護補助体制加算
	03 栄養サポートチーム加算	04 呼吸ケアチーム加算
勤務医の負担の軽減および処遇の改善に資する体制を要件としたもの	05 総合入院体制加算	06 ハイリスク分娩管理加算
	07 救命救急急入院料(注3加算)	08 小児入院医学管理料1・2

**問 27** 貴院での、**看護職員の負担軽減策の取り組み状況**をお伺いします。  
 (1) 平成23年〇月時点において、**各負担軽減策の取り組み状況**について、該当する番号にそれぞれ〇をつけてください。(それぞれ〇は1つ)  
 (2) 上記(1)において「02 取り組んでいないが今後取り組む予定である」または「03 取り組んでいる」と回答した取り組みについて、**平成22年度診療報酬改定をきっかけとして今後取り組む予定としたもの、もしくは取り組み始めたものに〇をつけてください。**

	(1) 取り組み状況			⇒ 02 又は 03 の場合	(2) 平成22年度診療報酬改定を機に 取り組んだ 場合に〇
	01 予定はない	02 今後取り組む 予定である	03 取り組んでいる		
1 看護補助者の導入・業務分担	01	02	03	⇒	
2 薬剤師の病棟配置・業務分担	01	02	03	⇒	
3 病棟クランクの配置	01	02	03	⇒	
4 その他コメディカルとの業務分担	01	02	03	⇒	
5 常勤看護職員の増員	01	02	03	⇒	
6 非常勤看護職員の増員	01	02	03	⇒	
7 夜勤専従者の雇用	01	02	03	⇒	
8 短時間正規雇用の看護職員の活用	01	02	03	⇒	
9 2交代・3交代制勤務の見直し	01	02	03	⇒	
10 シフト間隔の見直し	01	02	03	⇒	
11 長時間連続勤務を行わない勤務シフト体制	01	02	03	⇒	
12 超過勤務を行わない業務配分	01	02	03	⇒	

(次ページに続きます)

	(1) 取り組み状況			⇒ 02 又は 03 の場合	(2) 平成 22 年 度診療報酬 改定を機に 取り組んだ 場合に○
	01 予定はない 今後 も取り組 む	02 予定 である 今後 取り組 む	03 取り 組んで いる		
13 栄養サポートチームの設置	01	02	03	⇒	
14 呼吸ケアチームの設置	01	02	03	⇒	
15 夜間の緊急入院患者を直接病棟で受け入れなくても済む仕組み (例) 救急外来等の空床での夜間緊急入院患者の受け入れ等	01	02	03	⇒	
16 その他 ( )	01	02	03	⇒	
17 その他 ( )	01	02	03	⇒	

問 28 各取り組みのうち、看護職員の負担軽減に効果があったものはどれですか。(○はいくつでも)	
01 看護補助者の導入・業務分担	02 薬剤師の病棟配置・業務分担
03 病棟クラークの配置	04 その他コメディカルとの業務分担
05 常勤看護職員の増員	06 非常勤看護職員の増員
07 夜勤専従者の雇用	08 短時間正規雇用の看護職員の活用
09 2交代・3交代制勤務の見直し	10 シフト間隔の見直し
11 長時間連続勤務を行わない勤務シフト体制	12 超過勤務を行わない業務配分等
13 栄養サポートチームの設置	14 呼吸ケアチームの設置
15 夜間の緊急入院患者を直接病棟で受け入れなくても済む仕組み	
16 新人看護職員教育担当者の配置	17 その他 ( )

≫≫ 医師事務作業補助体制加算についてお伺いします。

問 29 平成 23 年○月時点において、医師事務作業補助体制加算を届け出ていますか。
01 届出をしている    02 届出をする予定である    03 届出をしていない (→問 30 へ)

問 29-1 届出をするにあたり、貴院では医師事務作業補助者の配置についてどのような取り組みを実施しましたか。(○はいくつでも)
01 医師事務作業補助者をもともと配置していたため特別な取り組みはない
02 医師事務作業補助者の配置を始めた
03 医師事務作業補助者を増員した
04 医師事務作業補助者の配置・増員の検討を始めた
05 その他 ( )

問 30 医師事務作業補助体制加算は、医師事務作業補助者の導入・増員の促進に効果があると考えますか。
01 効果がある    02 効果がない (理由: _____)
03 分からない    04 その他 ( )

≫≫栄養サポートチーム加算についてお伺いします。

問 31 平成23年〇月時点において、**栄養サポートチーム加算**を届け出ていますか。  
 01 届出をしている 02 届出をする予定である 03 届出をしていない (→問 32 へ)

問 31-1 届出をするにあたり、貴院では**栄養サポートチーム**についてどのような取り組みを実施しましたか。(〇はいくつでも)

01 栄養サポートチームをもともと配置していたため特別な取り組みはない  
 02 栄養サポートチームの配置を始めた  
 03 従来の栄養サポートチームのスタッフを増員した  
 04 その他 ( )

問 32 栄養サポートチームは、**チーム医療の導入・実施の促進**に効果があると考えますか。  
 01 効果がある 02 効果がない (理由: )  
 03 分からない 04 その他 ( )

問 33 栄養サポートチーム加算の届出の有無に関わらず回答ください。  
 貴院では**栄養サポートチーム**を設置し、栄養サポートに関する取り組みを行っていますか。  
**栄養サポートチームを設置している場合は、チーム構成員の状況、業務内容、チーム医療実施上の課題**についてご記入ください。

設置の有無	01 設置している 02 設置していないが今後設置する予定である 03 設置しておらず、今後も設置する予定はない
チーム構成員	医 師 ( ) 人 看 護 師 ( ) 人 薬 剤 師 ( ) 人 栄養管理士 ( ) 人 歯 科 医 師 ( ) 人 臨床検査技師 ( ) 人 理学療法士 ( ) 人 作業療法士 ( ) 人 社会福祉士 ( ) 人 言語聴覚士 ( ) 人 そ の 他 ( ) 人 看護師のうち、専門看護師・認定看護師の人数をご記入ください。 専門看護師 ( ) 人 認定看護師 ( ) 人
業務内容 (〇はいくつでも)	01 対象患者に対する栄養カンファレンス 02 対象患者に対する回診 03 栄養治療実施計画の策定 04 退院時指導 05 その他 ( )
配置状況	01 施設全体として配置 02 一部診療科に配置
チーム医療実施上の課題 (〇はいくつでも)	01 職員の確保 02 対象患者数が多く対応困難 03 職種間の役割分担 04 職種間の情報共有 05 その他 ( )

<p>問 34 栄養サポートチームを設置しているが、平成23年〇月時点で栄養サポートチーム加算の届出をしていない施設にお伺いします。 届出をしていない理由として該当する番号すべてに○をつけてください。(〇はいくつでも)</p> <p>01 規定の職員・体制の確保が困難であるため 02 算定対象となる患者がないため 03 病院勤務医の負担軽減及び処遇の改善に資する体制が整備できていないため 04 その他 ( )</p>
--

≫≫呼吸ケアチーム加算についてお伺いします。

<p>問 35 平成23年〇月時点において、呼吸ケアチーム加算を届け出ていますか。</p> <p>01 届出をしている 02 届出をする予定である 03 届出をしていない (→問 36 へ)</p>
---

<p>問 35-1 届出をするにあたり、貴院では呼吸ケアチームについてどのような取り組みを実施しましたか。(〇はいくつでも)</p> <p>01 呼吸ケアチームをもともと配置していたため特別な取り組みはない 02 呼吸ケアチームの配置を始めた 03 従来の呼吸ケアチームのスタッフを増員した 04 その他 ( )</p>
--

<p>問 36 呼吸ケアチームは、チーム医療の導入・実施の促進に効果があると考えますか。</p> <p>01 効果がある 02 効果がない (理由: _____) 03 分からない 04 その他 ( )</p>
---

<p>問 37 呼吸ケアチーム加算の届出の有無に関わらず回答ください。 貴院では呼吸ケアチームを設置し、呼吸ケアに関する取り組みを行っていますか。 呼吸ケアチームを設置している場合は、チーム構成員の状況、業務内容、チーム医療実施上の課題についてご記入ください。</p>	
設置の有無	<p>01 設置している 02 設置していないが今後設置する予定である 03 設置しておらず、今後も設置する予定はない</p>
チーム構成員	<p>医 師 ( ) 人 看 護 師 ( ) 人 臨床工学技士 ( ) 人 理学療法士 ( ) 人 そ の 他 ( ) 人 看護師のうち、専門看護師・認定看護師の人数をご記入ください。 専門看護師 ( ) 人 認定看護師 ( ) 人</p>
業務内容 (〇はいくつでも)	<p>01 病棟医および人工呼吸器管理等に詳しい医師との相談 02 人工呼吸器の安全管理 03 口腔内の衛生管理 04 適切な安全管理 05 廃用予防 06 呼吸器リハビリテーション 07 その他 ( )</p>
配置状況	<p>01 施設全体として配置 02 一部診療科に配置</p>
チーム医療実施上の課題 (〇はいくつでも)	<p>01 職員の確保 02 対象患者数が多く対応困難 03 職種間の役割分担 04 職種間の情報共有 05 その他 ( )</p>

**問 38** 呼吸ケアチーム加算の届出をしている施設にお伺いします。  
**算定要件上の課題**として該当する番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

01 一般病棟に人工呼吸器装着患者がいない  
 02 48時間以上継続して人工呼吸器を装着する患者がいない  
 03 人工呼吸器の離脱目的の患者がいない  
 04 その他 ( )  
 05 特に課題はない

**問 39** 呼吸ケアチームを設置しているが、平成23年〇月時点で呼吸ケアチーム加算の届出をしていない施設にお伺いします。**届出をしていない理由**として該当する番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

01 規定の職員・体制の確保が困難であるため      02 算定対象となる患者がいないため  
 03 病院勤務医の負担軽減及び処遇の改善に資する体制が整備できていないため  
 04 その他 ( )

≫≫急性期看護補助体制加算についてお伺いします。

**問 40** 平成23年〇月時点において、**急性期看護補助体制加算**を届け出ていますか。

01 届出をしている      02 届出をする予定である      03 届出をしていない (→問41へ)

問 40-1 上記問40で届出をするにあたり、貴院では看護補助者の配置についてどのような取り組みを実施しましたか。(○はいくつでも)

01 看護職員を、必要最小数を超えて配置していたため、特別な取り組みはない  
 02 看護補助者をもともと配置していたため、特別な取り組みはない  
 03 看護補助者の配置を始めた      04 看護補助者を増員した  
 05 看護職員を増員した      06 看護補助者の配置・増員の検討を始めた  
 07 看護職員の増員の検討を始めた      08 その他 ( )

**問 41** 急性期看護補助体制加算は、**看護補助者の導入・増員の促進**に効果があると考えますか。

01 効果がある      02 効果がない (理由: \_\_\_\_\_)  
 03 分からない      04 その他 ( )

■本年3月の東日本大震災が貴院に与えた影響についてお伺いします。

**問 42** 本年3月の東日本大震災が貴院に与えた影響として、該当するもの全ての番号に○をつけてください。なお、選択肢中の(増加・減少)、(厚く・薄く)などについては、いずれかをお選びください。

01 入院患者数が(増加・減少)した  
 02 外来患者数が(増加・減少)した  
 03 医師について、人員体制への影響により、院内の診療体制が(厚く・薄く)なった  
 04 看護職員について、人員体制への影響により、院内の看護体制が(厚く・薄く)なった  
 05 患者数の増減・人員体制への影響により、病院勤務医の勤務負担が(重く・軽く)なった  
 06 患者数の増減・人員体制への影響により、看護職員の勤務負担が(重く・軽く)なった  
 07 その他 ( )  
 08 影響を受けていない

最後に、勤務医および看護職員の負担軽減策、診療報酬改定についてご意見等ございましたらご自由にご記入ください。



設問は以上です。ご協力まことにありがとうございました



診療報酬改定の結果検証に係る調査（平成23年度調査）

病院勤務医の負担軽減の状況調査

- 特に指定がある場合を除いて、平成23年〇月〇日現在の状況についてお答えください。
- 数値を記入する設問で、該当するもの・施設等が無い場合は「0」（ゼロ）をご記入ください。

◀ 回答者全員がお答えください ▶

■回答者ご本人の状況についてお伺いします。

調査票記入日	平成23年（ ）月（ ）日		
性別	01 男性 02 女性	年齢	（ ）歳
医師経験年数	（ ）年	貴院での勤続年数	（ ）年
所属診療科	01 内科      02 外科      03 整形外科      04 脳神経外科 05 小児科      06 産科・婦人科      07 精神科      08 眼科 09 皮膚科      10 救急科      11 麻酔科 12 その他（ ）		
役職等	01 院長      02 副院長      03 部長      04 副部長 05 医長・科長      06 管理職以外のスタッフ医師 07 その他（ ）		
勤務形態1	01 常勤      02 非常勤		
勤務形態2	01 主治医制 <sup>注1</sup> 02 交代勤務制 <sup>注2</sup> 03 その他（ ）		
平成22年4月以降の昇格の有無	01 あり      02 なし		
平成22年4月以降の異動の有無	01 あり      02 なし		

注1. 主治医制度：勤務が交代しても主治医が替わらない制度。

注2. 交代勤務制：勤務の交代に伴い主治医が替わる制度。

■あなたの勤務状況等についてお伺いします。

問1 貴院における、あなたの1週間（〇月〇日～〇日）の診療時間、従業時間、滞在時間および平成23年〇月1ヵ月間の当直回数についてご記入ください。

1週間の診療時間 <sup>注1</sup>	約（ ）時間（ ）分
1週間の従業時間 <sup>注2</sup>	約（ ）時間（ ）分
1週間の滞在時間 <sup>注3</sup>	約（ ）時間（ ）分
平成23年〇月の当直回数 <sup>注4</sup>	（ ）回 うち、連続当直回数（ ）回

注1. 診療時間：患者の診療、手術のために勤務した時間。

注2. 従業時間：診療時間に教育、会議等に要した時間を加えた時間。

注3. 滞在時間：病院内にいた時間（診療に加えて待機、休憩や自己研修、研究等に充てた時間を含む）。

注4. 当直回数：土曜日・日曜日の日直は1回として数える。なお、連続当直回数とは当直翌日に当直が入っている日数を指す。

問2 この調査票を受け取った病院以外での勤務がありますか。

01 他病院で勤務している（→問2-1へ）      02 他病院で勤務していない（→問3へ）



問2-1 この病院以外での、あなたの1週間（〇月〇日～〇日）の実勤務時間、平成23年〇月1ヵ月間の勤務日数、当直回数についてご記入ください。

1週間の診療時間 <sup>注1</sup>	約（ ）時間（ ）分
1週間の従業時間 <sup>注2</sup>	約（ ）時間（ ）分
1週間の滞在時間 <sup>注3</sup>	約（ ）時間（ ）分
平成23年〇月の当直回数 <sup>注4</sup>	（ ）回 うち、連続当直回数（ ）回

注1. 診療時間：患者の診療、手術のために勤務した時間。

注2. 従業時間：診療時間に教育、会議等に要した時間を加えた時間。

注3. 滞在時間：病院内にいた時間（診療に加えて待機、休憩や自己研修、研究等に充てた時間を含む）。

注4. 当直回数：土曜日・日曜日の日直は1回として数える。なお、連続当直回数とは当直翌日に当直が入っている日数を指す。

問3 2年前と比較して、あなたの勤務状況はどのように変化しましたか。（それぞれ〇は1つ）

勤務時間	01 長くなった	02 変わらない	03 短くなった
長時間連続勤務の状況	01 長くなった	02 変わらない	03 短くなった
時間あたりの業務量	01 増えた	02 変わらない	03 減った
当直の回数	01 増えた	02 変わらない	03 減った
オンコールの回数	01 増えた	02 変わらない	03 減った
当直翌日の勤務状況	01 改善した	02 変わらない	03 悪化した
総合的にみた勤務状況	01 改善した	02 どちらかというと改善した	
	03 変わらない	04 どちらかというと悪化した	
	05 悪化した	06 その他（ ）	

問4 貴診療科では、平成22年4月以降、経済面の処遇に変化がありましたか。（それぞれ〇は1つ）

昇格以外の理由での基本給	01 増加した	02 変わらない	03 減額した
昇格以外の理由での賞与	01 増加した	02 変わらない	03 減額した
昇格以外での手術や当直等の勤務手当	01 増加した	02 変わらない	03 減額した
その他の処遇改善内容	（具体的に記入： ）		

問5 貴診療科におけるあなたの業務量および業務負担感についてお伺いします。

(1) あなたは以下の各業務を実施していますか。実施している業務の欄に○をご記入ください。

(2) 上記(1)で○をつけた業務について、業務負担感について該当する番号に○をつけてください。(それぞれ○は1つ)

(3) 上記(2)で「4 負担が大きい」又は「5 非常に負担が大きい」と回答した業務について、業務負担感が大きい理由として該当する番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

【業務負担感が大きい理由の選択肢】

- 1 : 1回あたりの所要時間が長いため      2 : 作業が多いため
- 3 : 作業が煩雑なため                      4 : 突発的に発生し、その後の予定に影響するため
- 5 : 必ずしも医師が実施しなければならない業務ではないため
- 6 : 診療内容が専門化・高度化したため
- 7 : 体力的負担が大きいため              8 : 精神的負担が大きいため
- 9 : 患者の要求が高度化しているため    10 : その他

	(1)	→ ○をつけた業務について	(2) 業務負担感					→ 業務について 4又は5と回答した	(3) 業務負担感が大きい理由  ※選択肢は上記1~10の内容を参照してください
	業務に○		非常に負担が小さい	負担が小さい	どちらともいえない	負担が大きい	非常に負担が大きい		
(記入例) 03 入院診療	○	→	1	2	3	④	5	→	1 2 3 4 5 ⑥ 7 8 ⑨ 10
01 外来診療 (診療時間内)		→	1	2	3	4	5	→	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
02 外来診療・救急外来 (診療時間外)		→	1	2	3	4	5	→	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
03 入院診療		→	1	2	3	4	5	→	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
04 手術		→	1	2	3	4	5	→	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
05 院内での教育・研修		→	1	2	3	4	5	→	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
06 当直		→	1	2	3	4	5	→	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
07 院内の診療外業務		→	1	2	3	4	5	→	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
08 夜間の呼び出し対応		→	1	2	3	4	5	→	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
09 患者・家族等への治療や検査等についての説明		→	1	2	3	4	5	→	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
10 その他管理業務		→	1	2	3	4	5	→	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

問6 貴施設には勤務医負担軽減策に資する計画がありますか。

- 01 あることも内容も知っている      02 あることは知っているが、内容は知らない
- 03 計画はない                              04 知らない

問7 貴診療科における勤務医負担軽減策についてお伺いします。

(1) 貴診療科で勤務医負担軽減策として**実施されている取り組み**に○をつけてください。

(○はいくつでも)

(2) 上記(1)で○をつけた取り組みについて、その**負担軽減の効果**を5段階で評価し、該当する番号に○をつけてください。(それぞれ○は1つ)

	(1)		(2) 負担軽減効果				
	実施されている 取り組みに○		効果がなかった	どちらかといえば 効果がなかった	どちらともいえない	どちらかといえば 効果があった	効果があった
(記入例) 04 医師事務作業補助者の配置	○		1	2	3	④	5
01 医師業務の看護職員との分担		→	1	2	3	4	5
02 医師業務の薬剤師との分担		→	1	2	3	4	5
03 医師業務のその他コメディカルとの分担		→	1	2	3	4	5
04 医師事務作業補助者の配置		→	1	2	3	4	5
05 看護補助者の配置		→	1	2	3	4	5
06 常勤医師の増員		→	1	2	3	4	5
07 非常勤医師の増員		→	1	2	3	4	5
08 短時間勤務の導入		→	1	2	3	4	5
09 交代勤務制の導入		→	1	2	3	4	5
10 連続当直を行わない勤務シフト体制		→	1	2	3	4	5
11 当直翌日の通常業務に係る配慮		→	1	2	3	4	5
12 外来診療時間の短縮		→	1	2	3	4	5
13 外来機能の縮小		→	1	2	3	4	5
14 地域の他の医療機関との連携体制		→	1	2	3	4	5
15 栄養サポートチームの設置		→	1	2	3	4	5
16 呼吸ケアチームの設置		→	1	2	3	4	5
17 薬剤師の病棟配置		→	1	2	3	4	5
18 その他 ( )		→	1	2	3	4	5

問8 貴診療科におけるあなたの業務負担感と業務分担の状況についてお伺いします。

(1) 各業務の**業務負担感**について該当する番号をご記入ください。

(2) 各業務の**他職種との業務分担の取り組み状況**について該当する番号に○をつけてください。

(○はいくつでも)

(3) 上記(2)で「1 他職種と分担している」に○をつけた業務について、業務を分担したことによる**負担軽減の効果**について5段階で評価し、該当する番号に○をつけてください。

(それぞれ○は1つ)

	(1) 業務負担感	(2) 分担推進状況			→ 1と回答した業務について	(3) 負担軽減への効果				
	1 非常に負担が小さい 2 負担が小さい 3 どちらともいえない 4 負担が大きい 5 非常に負担が大きい 9 実施していない ↓ 該当番号を記入	他職種と分担している	今後推進予定	分担をしていないが		分担をしておらず 今後も予定なし	効果がなかった	どちらかといえは 効果がなかった	どちらともいえない	どちらかといえは 効果があった
(記入例) 04 薬剤の投与量の調整		1	2	3	→	1	2	3	4	5
01 採血		1	2	3	→	1	2	3	4	5
02 静脈注射		1	2	3	→	1	2	3	4	5
03 留置針によるルート確保		1	2	3	→	1	2	3	4	5
04 薬剤の投与量の調整		1	2	3	→	1	2	3	4	5
05 診断書、診療記録及び処方箋の記載		1	2	3	→	1	2	3	4	5
06 主治医意見書の記載		1	2	3	→	1	2	3	4	5
07 診察や検査等の予約オーダーリングシステム入力や電子カルテ入力		1	2	3	→	1	2	3	4	5
08 救急医療等における診療の優先順位の設定 (トリアージの実施)		1	2	3	→	1	2	3	4	5
09 検査の手順や入院の説明		1	2	3	→	1	2	3	4	5
10 慢性疾患患者への療養生活等の説明		1	2	3	→	1	2	3	4	5
11 診察前の事前の面談による情報収集や補足的な説明		1	2	3	→	1	2	3	4	5
12 カンファレンスの準備等の調整業務		1	2	3	→	1	2	3	4	5
13 患者の退院に係る調整業務		1	2	3	→	1	2	3	4	5
14 その他 ( )		1	2	3	→	1	2	3	4	5
15 その他 ( )		1	2	3	→	1	2	3	4	5
16 その他 ( )		1	2	3	→	1	2	3	4	5

診療科の責任者以外の方は、11頁の間16にお移りください。  
 診療科の責任者(医長・科長)の方は、引き続き問9以降にご回答ください。

《ここからは、診療科の責任者（医長・科長）の方のみお答えください》

■貴診療科における勤務医負担軽減策の取り組み状況についてお伺いします。

問9 貴施設・貴診療科では勤務医の勤務時間、業務量等を把握する仕組みはありますか。 把握する仕組みがある場合、その把握方法についてもご回答ください。（それぞれ○は1つ）	
勤務時間	01 施設全体として仕組みがある    02 診療科単位で仕組みがある 03 特に仕組みはない                      04 その他（                      ）
把握方法	11 自己申告    12 タイムカード等での記録 13 その他（                      ）
業務量	01 施設全体として仕組みがある    02 診療科単位で仕組みがある 03 特に仕組みはない                      04 その他（                      ）
把握方法	11 自己申告    12 タイムスタディ等調査の実施 13 その他（                      ）

問10 貴診療科では、勤務医負担軽減策として、下記の各取り組みを実施していますか。各取り組みの実施状況について該当する番号に○をつけてください。（それぞれ○は1つ）					
	平成21年度 以前から実施中	平成22年度 から実施中	実施予定 がある	実施したいが できない	実施する 予定はない
01 医師業務の看護職員との分担	01	02	03	04	05
02 医師業務の薬剤師との分担	01	02	03	04	05
03 医師業務のその他コメディカルとの分担	01	02	03	04	05
04 医師事務作業補助者の配置	01	02	03	04	05
05 看護補助者の配置	01	02	03	04	05
06 常勤医師の増員	01	02	03	04	05
07 非常勤医師の増員	01	02	03	04	05
08 短時間勤務の導入	01	02	03	04	05
09 交代勤務制の導入	01	02	03	04	05
10 連続当直を行わない勤務シフト体制	01	02	03	04	05
11 当直翌日の仮眠をとれる体制	01	02	03	04	05
12 外来診療時間の短縮	01	02	03	04	05
13 外来機能の縮小	01	02	03	04	05
14 地域の医師との連携推進	01	02	03	04	05
15 栄養サポートチームの設置	01	02	03	04	05
16 呼吸ケアチームの設置	01	02	03	04	05
17 薬剤師の病棟配置	01	02	03	04	05
18 その他（                      ）	01	02	03	04	05
19 その他（                      ）	01	02	03	04	05
20 その他（                      ）	01	02	03	04	05

問10-1 上記問10で「実施したいができない(04)」または「実施する予定はない(05)」と回答した取り組みについて、その理由として該当する番号全てに○をつけてください。(○はいくつでも)

「実施したいができない(04)」または「実施する予定はない(05)」取り組みの番号に○		実施したいができない／実施する予定がない理由
01 医師業務の看護職員との分担	→	01 看護職員の業務量が多く分担できないため 02 具体的な分担方法が分からないため 03 安全性の確保が保証できないため 04 現状で特に問題がないため 05 その他 ( )
02 医師業務の薬剤師との分担	→	01 薬剤師の業務量が多く分担できないため 02 具体的な分担方法が分からないため 03 安全性の確保が保証できないため 04 現状で特に問題がないため 05 その他 ( )
03 医師業務のその他コメディカルとの分担	→	01 その他コメディカルの業務量が多く分担できないため 02 具体的な分担方法が分からないため 03 安全性の確保が保証できないため 04 現状で特に問題がないため 05 その他 ( )
04 医師事務作業補助者の配置	→	01 医師事務作業補助者を雇用する経済的負担が大きいため 02 医師事務作業補助者を募集しても集まらないため 03 現状で特に問題がないため 04 その他 ( )
05 看護補助者の配置	→	01 看護補助者を確保する経済的負担が大きいため 02 看護補助者を募集しても集まらないため 03 現状で特に問題がないため 04 その他 ( )
06 常勤医師の増員	→	01 常勤医師を雇用する経済的負担が大きいため 02 常勤医師を募集しても集まらないため 03 現状で特に問題がないため 04 その他 ( )
07 非常勤医師の増員	→	01 非常勤医師を雇用する経済的負担が大きいため 02 非常勤医師を募集しても集まらないため 03 現状で特に問題がないため 04 その他 ( )
08 短時間勤務の導入	→	01 短時間勤務を維持するだけの医師を雇用する経済的負担が大きいため 02 短時間勤務を希望する医師がいないため 03 現状で特に問題がないため 04 その他 ( )
09 交代勤務制の導入	→	01 交代勤務制を維持するだけの医師を雇用する経済的負担が大きいため 02 交代勤務制を希望する医師がいないため 03 継続的な診療が困難になるため 04 現状で特に問題がないため 05 その他 ( )

(次頁に続きます)

10 連続当直を行わない勤務シフト体制	→	01 シフトの調整を行うだけの医師数がないため 02 現状で特に問題がないため 03 その他 ( )
11 当直翌日の仮眠をとれる体制	→	01 業務量が多く、仮眠の時間がとれないため 02 医師が不足しているため 03 現状で特に問題がないため 04 その他 ( )
12 外来診療時間の短縮	→	01 患者数が多いため 02 収入が減るため 03 他病院・診療所との連携が困難であるため 04 現状で特に問題がないため 05 その他 ( )
13 外来機能の縮小	→	01 患者数が多いため 02 収入が減るため 03 他病院・診療所との連携が困難であるため 04 現状で特に問題がないため 05 その他 ( )
14 地域の医師との連携推進	→	01 連携方法が分からないため 02 地域の医師の協力が得られないため 03 現状で特に問題がないため 04 その他 ( )
15 栄養サポートチームの設置	→	01 必要な職員を確保できないため 02 研修の時間を確保できないため 03 現状で特に問題がないため 04 その他 ( )
16 呼吸ケアチームの設置	→	01 必要な職員を確保できないため 02 研修の時間を確保できないため 03 現状で特に問題がないため 04 その他 ( )
17 薬剤師の病棟配置	→	01 病棟に配置させるだけの薬剤師がないため 02 薬剤師を病棟配置させるメリットが分からないため 03 現状で特に問題がないため 04 その他 ( )
18 その他 ( )	→	( )
19 その他 ( )	→	( )
20 その他 ( )	→	( )



■チーム医療の状況についてお伺いします。

問 1 1 貴施設・貴診療科では**栄養サポートチーム**を設置していますか。

01 設置している (→問 11-1 へ)      02 設置していない (→問 12 へ)

問 1 1 - 1 設置している場合、貴診療科で**栄養サポートチームによる診療**が行われていますか。

01 行われている (→問 11-2 へ)      02 行われていない (→問 12 へ)

問 1 1 - 2 **栄養サポートチームの設置による効果**として該当する番号全てに○をつけてください。(○はいくつでも)

01 栄養評価・栄養管理がより適切に行われるようになった  
 02 患者の状態に即した栄養管理計画が策定・実施されるようになった  
 03 栄養管理に伴う合併症の予防・早期発見・治療が可能になった  
 04 栄養管理の効果・判定がより正確になった  
 05 患者の栄養状態の早期改善につながった  
 06 経口摂取への円滑な移行が行われるようになった  
 07 医師の栄養管理・栄養指導等に係る業務量が減った  
 08 病棟職員の栄養管理等に関する理解・スキルが高まった  
 09 褥瘡対策チーム、感染対策チーム、緩和ケアチーム等、施設内で活動している他チームとの連携が進んだ  
 10 その他 ( )

問 1 2 貴施設・貴診療科では**呼吸ケアチーム**を設置していますか。

01 設置している (→問 12-1 へ)      02 設置していない (→問 13 へ)

問 1 2 - 1 設置している場合、貴診療科で**呼吸ケアチームによる診療**が行われていますか。

01 行われている (→問 12-2、12-3 へ)      02 行われていない (→問 13 へ)

問 1 2 - 2 **呼吸ケアチームの設置による効果**として該当する番号全てに○をつけてください。(○はいくつでも)

01 人工呼吸器関連肺炎が減少した  
 02 人工呼吸器装着日数が減少した  
 03 再挿管率が減少した  
 04 より患者の状態に即した呼吸器リハビリテーションが可能となった  
 05 医師の人工呼吸器管理に係る業務量が減った  
 06 病棟職員の呼吸ケア等に関する理解・スキルが高まった  
 07 その他 ( )

問 1 2 - 3 **平成 2 3 年 0 月 1 ヶ月間における、呼吸ケアチームによる診療実績等**についてお伺いします。

【お手数ですが、ご回答にあたっては、呼吸ケアチームの担当者にご確認ください。】

① 呼吸ケアチームによる診療患者数 (実人数)		人
② 延べ診療回数		回
③ 上記①のうち、人工呼吸器離脱に至った患者数		人
④ 患者一人当たりの平均人工呼吸器装着日数(小数点第 2 位四捨五入)		日

■薬剤師との連携についてお伺いします。

問13 貴診療科では**薬剤師が病棟に配置**されていますか。

01 配置されている (→問13-1、13-2へ)

02 配置されていない (→問14へ)

問13-1 **病棟薬剤師との連携内容**として該当する番号全てに○をつけてください。

(○はいくつでも)

- 01 薬物療法プロトコルの作成・進行管理
- 02 患者の状態、薬物療法の経過観察に応じた処方の検討
- 03 持参薬を考慮した服用計画の検討
- 04 効果・副作用等の確認
- 05 薬剤師も参加したカンファレンスや回診の実施
- 06 患者等への薬剤に関する説明等の実施
- 07 医薬品の有効性・安全性情報の収集・管理
- 08 その他 ( )

問13-2 **病棟薬剤師の配置による効果**として該当する番号全てに○をつけてください。

(○はいくつでも)

- 01 薬物療法プロトコル作成、処方の検討により業務の負担が軽減した
- 02 薬剤関連の必要な情報を速やかに入手・把握できるようになった
- 03 患者に応じ、より適した薬物療法が可能となり、患者のQOLの向上につながった
- 04 副作用等の合併症が減少した
- 05 薬剤関連のインシデントが減少した
- 06 病棟職員の薬物療法・服薬指導の対する理解・スキルが向上した
- 07 その他 ( )

問14 **勤務医負担軽減のために有効と考えられる薬剤師の病棟での業務内容**をご記入ください。

■病院勤務医の負担軽減策に関するご意見についてお伺いします。

問15 貴診療科において、今後**勤務医の負担軽減**についてより積極的に取り組む必要があると考えますか。積極的に取り組む必要がないと回答された場合には、その理由についてご記入ください。

- 01 積極的に取り組む必要がある
- 02 積極的に取り組む必要がない

(理由: )

《 回答者全員にお伺いします 》

問16 現在のあなたの勤務状況に対する意見として最も近いもの1つに○をつけてください。

- 01 勤務負担感が大きく、勤務状況の改善が必要である (→問 17、18 へ)
- 02 勤務負担感は大きい、勤務状況は現状のままでもよい (→問 19 へ)
- 03 勤務負担感は特に大きくなく、勤務状況は現状のままでもよい
- 04 勤務負担感は特に大きくないが、勤務状況の更なる改善が必要である (→問 17、18 へ)
- 05 その他 ( )

問17 勤務状況の改善が必要であると回答した理由として近いものすべてに○をつけてください。  
(○はいくつでも)

- 01 医師の過重勤務により患者さんが不利益を被る可能性があるため
- 02 業務を継続していけるか不安があるため
- 03 過重勤務により身体的・精神的疾患を患う(患った)ため
- 04 給与が業務量に比べて低いと感じるため
- 05 育児休暇等のワークライフバランスがとれていないため
- 06 特に問題はないが、勤務医負担軽減策を行うことで更に勤務状況の改善が見込めるため
- 07 その他 ( )

問18 今後勤務医の負担軽減のため、どのような対策が必要だと考えますか。(○はいくつでも)

- 01 職員配置の増員 ⇒ 

31 医師の増員	32 看護職員の増員
33 その他コメディカルの増員	34 医師事務作業補助者の増員
35 看護補助者の増員	36 チーム医療スタッフの配置
37 病棟薬剤師の配置	
- 02 外来縮小
- 03 地域連携の推進(医療機能分担)
- 04 経済面での処遇改善
- 05 他職種との業務分担の見直し
- 06 チーム医療の推進
- 07 勤務体制の見直し
- 08 その他 ( )

問19 勤務状況が現状のままでもよいと回答した理由として近いものすべてに○をつけてください。  
(○はいくつでも)

- 01 患者に貢献できるため
- 02 医師としてやりがいを感じているため
- 03 医師として使命感をもっているため
- 04 仕事が充実しているため
- 05 給与に見合った業務量のため
- 06 医師の勤務負担だけが大きいわけではないため
- 07 その他 ( )

■最後に、あなたの勤務状況や病院勤務医の負担軽減、診療報酬改定等についてご意見ございましたら、ご自由にご記入ください。

調査は以上です。ご協力有難うございました。

診療報酬改定の結果検証に係る調査(平成23年度調査)

病院勤務医の負担軽減の状況調査

- 特に指定がある場合を除いて、平成23年〇月〇日現在の状況についてお答えください。
- 数値を記入する設問で、該当するものが無い場合は「0」(ゼロ)をご記入ください。

■貴病棟の概要についてお伺いします。

調査票記入日	平成23年(            )月(            )日			
病棟の主たる診療科 (〇はいくつでも)	01 内科	02 心療内科	03 精神科	04 神経科・神経内科
	05 呼吸器科	06 循環器科	07 アレルギー科	08 消化器科・胃腸科
	09 リウマチ科	10 小児科	11 外科	12 整形外科
	13 形成外科	14 脳神経外科	15 呼吸器外科	16 心臓血管外科
	17 小児外科	18 皮膚科	19 泌尿器科	20 肛門科
	21 産婦人科・産科・婦人科	22 眼科	23 耳鼻咽喉科	
	24 放射線科	25 リハビリテーション科		
	26 その他 (                                      )			
平成23年〇月〇日時点の許可病床数	(            )床			
平成23年〇月〇日時点の稼働病床数	(            )床			
平成23年〇月〇日時点の入院患者数	(            )人			

■貴病棟における看護職員の勤務状況等についてお伺いします。

貴病棟の勤務形態 (○はいくつでも)	01 2交代制 <sup>注1</sup> 02 変則2交代制 <sup>注2</sup> 03 3交代制 <sup>注3</sup> 04 変則3交代制 <sup>注4</sup> 05 日勤のみ 06 夜勤のみ 07 短時間勤務 <sup>注5</sup> 08 その他 ( )	
看護職員 <sup>注6</sup> の平均年齢	( ) 歳 (小数点第1位まで)	
看護職員数	常勤 ( ) 人 非常勤(常勤換算 <sup>注7</sup> ) ( ) 人	
未就学児童の子どもをもつ看護職員数	常勤 ( ) 人 非常勤 ( ) 人	
看護補助者数(常勤換算 <sup>注7</sup> )	( ) 人	
医師事務作業補助者 <sup>注8</sup> (常勤換算 <sup>注7</sup> )	( ) 人	
1ヵ月の所定労働時間(看護職員1人あたり)	( ) 時間 ( ) 分	
1ヵ月の平均勤務時間 <sup>注9</sup> (看護職員1人あたり)	( ) 時間 ( ) 分	
(うち) 残業時間	( ) 時間 ( ) 分	
1ヵ月の平均夜勤時間 <sup>注10</sup> (看護職員1人あたり) ※月16時間以下の従事者および夜勤専従者を除く	( ) 時間	
平均夜勤体制(配置人数)	( ) 人	
日勤における休憩時間 <sup>注11</sup>	( ) 時間 ( ) 分	
夜勤における 休憩時間 <sup>注11</sup> および仮眠時間	(変則) 2交代の場合 ※休憩および仮眠時間をまとめて 付与している場合は上段に回答。 ※どちらかのみ、またはそれぞれ付 与の場合は下段に回答。	休憩・仮眠 ( ) 時間 ( ) 分
		休憩 ( ) 時間 ( ) 分
		仮眠 ( ) 時間 ( ) 分
	(変則) 3交代の場合 ※休憩時間のみ回答	準夜勤:( ) 時間 ( ) 分 深夜勤:( ) 時間 ( ) 分
平成22年度における看護職員の有給休暇付与日数 <sup>注12</sup> (合計)	延べ ( ) 日	
(うち) 有給休暇取得日数(合計)	延べ ( ) 日	
平成22年度における看護職員の特別休暇 <sup>注13</sup> 付与日数(合計)	延べ ( ) 日	
(うち) 特別休暇取得日数(合計)	延べ ( ) 日	

注1. 2交代制: 日勤・夜勤が12時間ずつの交代勤務をいいます。

注2. 変則2交代制: 日勤8時間、夜勤16時間といった日勤・夜勤の各時間帯の勤務時間の長さが異なる交代勤務をいいます。

注3. 3交代制: 日勤・準夜勤・深夜勤が8時間ずつの交代勤務をいいます。

注4. 変則3交代制: 日勤9時間、準夜勤7時間、深夜勤8時間といった日勤・準夜勤・深夜勤の各時間帯の勤務時間の長さが異なる交代勤務をいいます。

注5. 短時間勤務: 雇用形態を問わず、貴施設における所定労働時間よりも短い時間での勤務をいいます。

注6. 看護職員: 看護師、保健師、助産師、准看護師を指します。

注7. 常勤換算の計算方法:

貴施設の1週間の所定勤務時間を基本として、下記のように常勤換算して小数第一位までご記入ください。

例: 1週間の所定勤務時間が40時間の病院で、週4日(各日5時間)勤務の看護職員が1人いる場合

$$\text{非常勤看護職員数} = \frac{4 \text{日} \times 5 \text{時間} \times 1 \text{人}}{40 \text{時間}} = 0.5 \text{人}$$

注8. 医師事務補助者: 病院勤務医の負担の軽減及び処遇の改善に対する体制を確保することを目的として、医師、医療関係職員、事務職員等との間での業務の役割分担を推進し、医師の事務作業を補助する専従者をいいます(病棟クランクとの違いに注意)。

※お手数ですが、回答にあたって貴看護部で把握されていない場合には、事務部門等、把握されている部門にお問い合わせの上、記入していただきますよう、お願いいたします。

注9. 平均勤務時間:

看護職員の延べ勤務時間を、常勤換算した看護職員数で割って算出します。

$$\text{平均勤務時間} = \frac{\text{看護職員の延べ勤務時間}}{\text{常勤換算看護職員数}}$$

注10. 平均夜勤時間:

月16時間以下の従事者と夜勤専従者を除く看護職員の延べ夜勤勤務時間を、月16時間以下の従事者と夜勤専従者を除き常勤換算した看護職員数で割って算出します。

$$\text{平均夜勤時間} = \frac{\text{延べ夜勤勤務時間(月16時間以下の従事者および夜勤従事者の勤務分を除く)}}{\text{常勤換算看護職員数(月16時間以下の従事者および夜勤専従者を除く)}}$$

注11. 休憩時間: 1回の勤務にあたり貴施設の所定勤務時間において規定されている休憩時間をいいます。

注12. 休暇付与日数: 休暇付与日数に前年度の繰越日数は含みません。

注13. 特別休暇: 法定休暇以外の休暇で、就業規則等により組織により任意で規定されるものです。夏季休暇・年末年始休暇・慶弔休暇・法定休暇を超える期間の育児・介護・子の看護休暇・リフレッシュ休暇・ボランティア休暇などが定められる場合があります。

■貴病棟における看護職員の負担軽減策の取り組み状況についてお伺いします。

問1 貴施設・貴病棟では、看護職員の**長時間勤務・夜勤負担軽減**のためにどのような取り組みを実施していますか。該当する番号に○をつけてください。(○はいくつでも)  
また、その他長時間勤務・夜勤負担軽減のためにどのような取り組みを実施していますか。具体的な内容をご記入ください。

- 01 1日勤務拘束時間の上限を設定している(3交代制)(日: \_\_\_\_\_ 時間)
- 02 1日勤務拘束時間の上限を設定している(2交代制)(日: \_\_\_\_\_ 時間)
- 03 法令で定められている以上の休憩時間を付与し、休憩時間を確実に確保している
- 04 夜勤中の仮眠時間を休憩時間とは別に付与し、確実に確保できるようにしている
- 05 1ヵ月あたりの夜勤回数の上限を設定している(月: \_\_\_\_\_ 回)
- 06 1ヵ月あたりの夜勤時間の上限を設定している(月: \_\_\_\_\_ 時間)
- 07 夜勤後、次回勤務までの間隔について規定を設けている
- 08 シフト間隔が8時間以下にならないようにしている
- 09 (3交代の場合)日勤、準夜勤、深夜勤務の方向でシフトを編成している
- 10 夜勤の人員配置を厚くしている(夜勤の看護師一人あたり受け持ち患者数を10人以下としている)
- 11 夜勤専従者を配置している
- 12 早出・遅出等を設定し、必要な時間帯に人手を厚く配置している
- 13 1週間あたり2日の休暇(完全な休日)を確保する
- 14 1ヵ月に最低1回の2日以上の子連休を確保している

《その他長時間勤務・夜勤負担軽減のための取り組み》

問2 貴病棟における看護職員の負担軽減策と効果の実感についてお伺いします。

(1) 貴病棟で**実施中の取り組み**に○をつけてください。(○はいくつでも)

(2) 上記で○をつけた実施中の取り組みについて、あなたの感じる**負担軽減策の効果**を5段階で評価し、該当する番号に○をつけてください。(それぞれ○は1つ)

	(1)		(2) 負担軽減効果				
	取り組みに○	実施中の	効果がなかった	どちらかといえば効果がなかった	どちらともいえない	どちらかといえば効果があった	効果があった
(記入例) 03 病棟クラークの配置	○	→	1	2	3	④	5
01 看護補助者の導入・業務分担		→	1	2	3	4	5
02 薬剤師の病棟配置・業務分担		→	1	2	3	4	5
03 病棟クラークの配置		→	1	2	3	4	5
04 その他コメディカルとの業務分担		→	1	2	3	4	5
05 常勤看護職員の増員		→	1	2	3	4	5
06 非常勤看護職員の増員		→	1	2	3	4	5
07 夜勤専従者の雇用		→	1	2	3	4	5
08 短時間正規雇用の看護職員の活用		→	1	2	3	4	5
09 2交代・3交代制勤務の見直し		→	1	2	3	4	5
10 シフト間隔の見直し		→	1	2	3	4	5
11 長時間連続勤務を行わない勤務シフト体制		→	1	2	3	4	5
12 超過勤務を行わない業務配分		→	1	2	3	4	5
13 栄養サポートチームによる介入		→	1	2	3	4	5
14 呼吸ケアチームによる介入		→	1	2	3	4	5
15 夜間の緊急入院患者を直接病棟で受け入れなくても済む仕組み (例) 救急外来等の空床での夜間緊急入院患者の受け入れ等		→	1	2	3	4	5
16 その他 ( )		→	1	2	3	4	5
17 その他 ( )		→	1	2	3	4	5
18 その他 ( )		→	1	2	3	4	5

問3 貴病棟では <b>看護職員の勤務時間、業務量を把握する仕組み</b> はありますか。 把握する仕組みがある場合、その <b>把握方法</b> についてもご回答ください。(それぞれ○は1つ)	
勤務時間 把握方法	01 自己申告 02 タイムカード等での記録 03 その他 ( )
超過勤務の 届出方法	01 タイムカードでの自動的な計算・申請 02 タイムカード以外の記録物による自己申告 03 師長等管理職への自己申告 04 上司等による確認 05 その他
業務量	01 <u>施設全体として仕組みがある</u> 02 <u>病棟単位で仕組みがある</u> 03 特に仕組みはない 04 その他 ( )
把握方法	11 自己申告 12 タイムスタディ等調査の実施 13 その他 ( )

■**チーム医療の状況についてお伺いします。**

問4 貴施設・貴病棟では <b>栄養サポートチーム</b> を設置していますか。	
01 設置している (→問4-1へ) 02 設置していない (→問5へ)	
問4-1 設置している場合、貴病棟で <b>栄養サポートチームによる診療</b> が行われていますか。	
01 行われている (→問4-2へ) 02 行われていない (→問5へ)	
問4-2 <b>栄養サポートチームの設置による効果</b> として該当する番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)	
01 栄養評価・栄養管理がより適切に行われるようになった 02 患者の状態に即した栄養管理計画が策定・実施されるようになった 03 栄養管理に伴う合併症の予防・早期発見・治療が可能になった 04 栄養管理の効果・判定がより正確になった 05 患者の栄養状態の早期改善につながった 06 経口摂取への円滑な移行が行われるようになった 07 医師の栄養管理・栄養指導等に係る業務量が減った 08 病棟職員の栄養管理等に関する理解・スキルが高まった 09 褥瘡対策チーム、感染対策チーム、緩和ケアチーム等、施設内で活動している他チームとの連携が進んだ 10 その他 ( )	



問5 貴施設・貴病棟では**呼吸ケアチーム**を設置していますか。

01 設置している (→問5-1へ) 02 設置していない (→問6へ)

問5-1 設置している場合、**呼吸ケアチームによる診療**が行われていますか。

01 行われている (→問5-2へ) 02 行われていない (→問6へ)

問5-2 **呼吸ケアチームの設置による効果**として該当する番号すべてに○をつけてください。  
(○はいくつでも)

- 01 人工呼吸器関連肺炎が減少した
- 02 人工呼吸器装着日数が減少した
- 03 再挿管率が減少した
- 04 より患者の状態に即した呼吸器リハビリテーションが可能となった
- 05 看護職員の人工呼吸器管理・呼吸器ケアに係る業務量が減った
- 06 病棟職員の呼吸ケア等に関する理解・スキルが高まった
- 07 その他 ( )

■**薬剤師との連携についてお伺いします。**

問6 貴病棟では**薬剤師が病棟に配置**されていますか。

01 配置されている (→問6-1, 6-2へ) 02 配置されていない (→問7へ)

問6-1 **病棟薬剤師が担っている業務と連携内容**として該当する番号全てに○をつけてください。  
(○はいくつでも)

- |                         |                       |
|-------------------------|-----------------------|
| 01 持参薬の管理               | 02 効果・副作用等の確認         |
| 03 薬剤師と共にカンファレンスや回診への参加 | 04 患者等への薬剤に関する説明等の実施  |
| 05 配薬                   | 06 薬剤のミキシング (抗がん剤を除く) |
| 07 抗がん剤のミキシング           | 08 病棟配置薬の管理           |
| 09 その他 ( )              |                       |

問6-2 **病棟薬剤師の配置による効果**として該当する番号全てに○をつけてください。  
(○はいくつでも)

- |                                  |                          |
|----------------------------------|--------------------------|
| 01 看護職員の薬剤関連業務の負担が軽減した           | 02 速やかに必要な情報を把握できるようになった |
| 03 薬剤関連のインシデントが減少した              | 04 服薬支援がより適切に行われるようになった  |
| 05 病棟職員の薬物療法・服薬指導に対する理解・スキルが向上した |                          |
| 06 患者の直接ケア時間が増えた                 | 07 その他 ( )               |

問7 **看護職員の負担軽減のために有効と考えられる薬剤師の病棟での業務内容**をご記入ください。

■看護職員の負担軽減策に関するご意見についてお伺いします。

問8 貴病棟において、今後看護職員の負担軽減についてより積極的に取り組む必要があると考えますか。

01 積極的に取り組む必要がある      02 積極的に取り組む必要はない

問9 看護職員の負担軽減策に関するご意見をご自由にお書きください。

--

調査は以上です。ご協力有難うございました。

病院勤務医の負担軽減の状況調査

- 特に指定がある場合を除いて、平成23年〇月〇日現在の状況についてお答えください。
- 数値を記入する設問で、該当するものが無い場合は「0」(ゼロ)をご記入ください。

■あなたの状況についてお伺いします。

調査票記入日	平成23年( )月( )日			
性別	01 男性 02 女性	年齢	( )歳	
配偶者の有無	01 有り 02 無し			
子どもの有無等	01 有り(⇒人数: _____人、末子の年齢: _____歳) 02 無し			
看護職員経験年数	( )年	貴院での勤続年数	( )年	
		貴病棟での勤続年数	( )年	
病棟の主たる診療科 (〇はいくつでも)	01 内科 05 呼吸器科 09 リウマチ科 13 形成外科 17 小児外科 21 産婦人科・産科・婦人科 24 放射線科 26 その他( )	02 心療内科 06 循環器科 10 小児科 14 脳神経外科 18 皮膚科	03 精神科 07 アレルギー科 11 外科 15 呼吸器外科 19 泌尿器科 22 眼科	04 神経科・神経内科 08 消化器科・胃腸科 12 整形外科 16 心臓血管外科 20 肛門科 23 耳鼻咽喉科 25 リハビリテーション科
職種	01 看護師	02 保健師	03 助産師 04 准看護師	
勤務形態1	01 常勤 02 非常勤			
勤務形態2	01 2交代制 <sup>注1</sup> 02 変則2交代制 <sup>注2</sup> 03 3交代制 <sup>注3</sup> 04 変則3交代制 <sup>注4</sup> 05 日勤のみ 06 夜勤のみ 07 短時間勤務 <sup>注5</sup> 08 その他( )			

注1. 2交代制: 日勤・夜勤が12時間ずつの交代勤務をいいます。  
 注2. 変則2交代制: 日勤8時間、夜勤16時間といった日勤・夜勤の各時間帯の勤務時間の長さが異なる交代勤務をいいます。  
 注3. 3交代制: 日勤・準夜勤・深夜勤が8時間ずつの交代勤務をいいます。  
 注4. 変則3交代制: 日勤9時間、準夜勤7時間、深夜勤8時間といった日勤・準夜勤・深夜勤の各時間帯の勤務時間の長さが異なる交代勤務をいいます。  
 注5. 短時間勤務: 雇用形態を問わず、貴施設における所定労働時間よりも短い時間での勤務をいいます。

問1 <b>最近1ヵ月間の自覚症状</b> について、各質問に対し最も当てはまる項目に○を付けてください。 (それぞれ○は1つ)			
1. イライラする	01	ほとんどない	02 時々ある 03 よくある
2. 不安だ	01	ほとんどない	02 時々ある 03 よくある
3. 落ち着かない	01	ほとんどない	02 時々ある 03 よくある
4. ゆううつだ	01	ほとんどない	02 時々ある 03 よくある
5. よく眠れない	01	ほとんどない	02 時々ある 03 よくある
6. 体の調子が悪い	01	ほとんどない	02 時々ある 03 よくある
7. 物事に集中できない	01	ほとんどない	02 時々ある 03 よくある
8. することに間違いが多い	01	ほとんどない	02 時々ある 03 よくある
9. 工作中、強い眠気に襲われる	01	ほとんどない	02 時々ある 03 よくある
10. やる気が出ない	01	ほとんどない	02 時々ある 03 よくある
11. へとへとだ (運動後を除く)	01	ほとんどない	02 時々ある 03 よくある
12. 朝、起きた時、ぐったりした疲れを感じる	01	ほとんどない	02 時々ある 03 よくある
13. 以前と比べて、疲れやすい	01	ほとんどない	02 時々ある 03 よくある

問2 <b>平成23年〇月の1ヵ月間</b> において、ヒヤリハット <sup>注1</sup> は何件ありましたか？ ( ) 件
--

- 注1. ヒヤリハット：定義は、以下に該当するものです。
1. 医療に誤りがあったが、患者に実施される前に発見された事例。
  2. 誤った医療が実施されたが、患者への影響が認められなかった事例または軽微な処置・治療を要した事例。
  3. 誤った医療が実施されたが、患者への影響が不明な事例。

■あなたの勤務状況等についてお伺いします。

問3 あなたの日勤および夜勤の <b>勤務前の準備時間、残業時間、休憩時間</b> についてご記入ください。(記入に当たっては、記入要領をご確認ください。)		
【日勤】	ア. 勤務前の準備時間	( ) 時間 ( ) 分
	イ. 休憩時間	( ) 時間 ( ) 分
	ウ. 残業時間	( ) 時間 ( ) 分
【夜勤】 (変則) 2交代 (2勤務分)	エ. 勤務前の準備時間	( ) 時間 ( ) 分
	オ. 休憩または仮眠時間	( ) 時間 ( ) 分
	カ. 残業時間	( ) 時間 ( ) 分
【夜勤】 (変則) 3交代 の準夜	キ. 勤務前の準備時間	( ) 時間 ( ) 分
	ク. 休憩時間	( ) 時間 ( ) 分
	ケ. 残業時間	( ) 時間 ( ) 分
【夜勤】 (変則) 3交代 の深夜	コ. 勤務前の準備時間	( ) 時間 ( ) 分
	サ. 休憩時間	( ) 時間 ( ) 分
	シ. 残業時間	( ) 時間 ( ) 分

問4 あなたの平成23年〇月1ヵ月間の夜勤回数、休日日数についてご記入ください。		
夜勤回数 <sup>注1</sup>	(変則) 2交代の場合	( ) 回/月
	(変則) 3交代の場合	準夜勤:( ) 回/月 深夜勤:( ) 回/月
休日日数(土日の週休分や有給休暇等も含む)		( ) 日、うち連休回数( ) 回

注1. 夜勤回数について、月をまたぐ夜勤は0.5回と数えてください。

問5 あなたの平成22年度における取得休暇日数についてご記入ください。	
平成22年度の有給休暇取得日数	( ) 日
平成22年度の特別休暇 <sup>注</sup> 取得日数	( ) 日

注. 特別休暇: 法定休暇以外の休暇で、就業規則等により組織において任意で規定されるものです。夏季休暇、年末年始休暇、慶弔休暇、法定休暇を超える期間の育児・介護・子の看護休暇、リフレッシュ休暇、ボランティア休暇などがあります。

問6 あなたの勤務形態は(変則)3交代制ですか。	
01 はい((変則)3交代制)(→問6-1, 6-2へ)	02 いいえ(→問7へ)

問6-1 平成23年〇月の1ヵ月間において、日勤-深夜、準夜-日勤のシフトは何回ありましたか。	
日勤-深夜 ( ) 回	準夜-日勤 ( ) 回

問6-2 平成23年〇月1ヵ月間において、シフト間隔(前の勤務の終了時間から次の勤務の開始時間までの間隔)が8時間以下になる勤務はありましたか。 あった場合は回数もお答え下さい。	
01 あり( ) 回	02 なし

問7 最近1ヵ月間の勤務の状況について、各質問に対し最も当てはまる項目に○を付けてください。(それぞれ○は1つ)			
1. 1ヵ月の時間外労働	01 ない又は適当	02 多い	03 非常に多い
2. 不規則な勤務(予定の変更、突然の仕事)	01 少ない	02 多い	
3. 出張に伴う負担(頻度・拘束時間・時差など)	01 ない又は小さい	02 大きい	
4. 深夜勤務に伴う負担 <sup>注1</sup>	01 ない又は小さい	02 大きい	03 非常に大きい
5. 休憩・仮眠の時間数及び施設	01 適切である	02 不適切である	
6. 仕事についての精神的負担	01 小さい	02 大きい	03 非常に大きい
7. 仕事についての身体的負担 <sup>注2</sup>	01 小さい	02 大きい	03 非常に大きい

注1. 深夜勤務に伴う負担: 深夜勤務の頻度や時間数などから総合的に判断してください。深夜勤務は、深夜時間帯(午後10時-午前5時)の一部または全部を含む勤務をいいます。

注2. 仕事についての身体的負担: 肉体的作業や寒冷・暑熱作業などの身体的な面での負担を指します。

問 8 貴院で <b>看護職員</b> として勤務し続ける上で問題だと感じていることを上位5つお選びください。 (〇は5つ)	
勤務状況について	01 日勤の勤務時間が長い      02 夜勤の勤務時間が長い 03 時間外労働が多い          04 夜勤回数が多い 05 夜勤の身体的負担が大きい    06 勤務間隔が短い 07 休暇がとれない・とりづらい   08 勤務形態を選べない 09 その他 (                              )
処遇について	10 賃金(賞与含む)が低い      11 夜勤手当等の勤務手当が少ない 12 福利厚生が充実していない 13 その他 (                              )
業務内容について	14 看護業務の業務量が多い      15 看護業務以外の業務が多い 16 その他 (                              )
教育・研修について	17 院内研修の内容や時間が不十分である 18 院外の研修に参加する機会が少ない 19 看護研究の取り組みや発表の機会が不十分である 20 認定・専門看護師等の資格取得支援がない 21 その他 (                              )
その他	22 子育てと就労の両立が困難      23 介護と就労の両立が困難 24 職場の人間関係が悪い      25 責任が重い 26 医療事故への不安がある      27 その他 (                              )

問 9 <u>2年前と比較して</u> 、あなたの <b>勤務状況</b> はどのように変化しましたか。(それぞれ〇は1つ)	
勤務時間	01 長くなった    02 変わらない    03 短くなった
残業時間	01 長くなった    02 変わらない    03 短くなった
時間あたりの業務量	01 増えた          02 変わらない    03 減った
長時間連続勤務の状況	01 長くなった    02 変わらない    03 短くなった
夜勤時間の長さ	01 長くなった    02 変わらない    03 短くなった
夜勤の回数	01 増えた          02 変わらない    03 減った
夜勤シフトの組み方	01 改善した        02 変わらない    03 悪化した
夜勤時の受け持ち患者数	01 増えた          02 変わらない    03 減った
総合的にみた勤務状況	01 改善した      02 どちらかという 03 悪化した      04 どちらかという 05 悪化した      06 その他 (                              )

問 10 平成 22 年 4 月以降、昇格以外の理由で、あなたの <b>経済面の処遇</b> に変化がありましたか。(それぞれ〇は1つ)	
昇格以外の理由での基本給	01 増加した    02 変わらない    03 減額した
昇格以外の理由での賞与	01 増加した    02 変わらない    03 減額した
昇格以外での夜勤等の勤務手当	01 増加した    02 変わらない    03 減額した
その他の処遇改善内容	(具体的に記入:                              )

■あなたの勤務における業務量および負担感についてお伺いします。

問 1 1 あなたの勤務における業務量および負担感についてお伺いします。								
(1) あなたの業務量を病院全体の看護職員の平均と比べた場合の印象について、該当する番号に○をつけてください。(それぞれ○は1つ)								
(2) 各業務の負担感について、該当する番号に○をつけてください。(それぞれ○は1つ)								
	(1) 業務量			(2) 業務負担感				
	総じて業務量が少ない	ほぼ平均的な業務量である	総じて業務量が多い	非常に小さい	負担が小さい	どちらともいえない	負担は大きい	非常に負担が大きい
(記入例) 04 体位変換・移乗 (車椅子、ベッド等)	1	②	3	1	2	3	④	5
01 食事 (食事介助、経管栄養等)	1	2	3	1	2	3	4	5
02 排泄 (排便・排尿介助、おむつ交換等)	1	2	3	1	2	3	4	5
03 清潔・整容 (清拭、陰部洗浄、口腔ケア等)	1	2	3	1	2	3	4	5
04 体位変換・移乗 (車椅子、ベッド等)	1	2	3	1	2	3	4	5
05 寝具やリネンの交換	1	2	3	1	2	3	4	5
06 患者の病棟外への送迎 (検査、リハビリ、手術出し・迎え等)	1	2	3	1	2	3	4	5
07 リハビリ (理学療法、作業療法、言語療法等)	1	2	3	1	2	3	4	5
08 患者のADLや行動の見守り・付添 (認知症や高次脳機能障害等)	1	2	3	1	2	3	4	5
09 薬物療法 (与薬、注射や輸液等の準備・実施・管理、常備薬等の管理等)	1	2	3	1	2	3	4	5
10 緊急入院患者の対応	1	2	3	1	2	3	4	5
11 急変患者の対応	1	2	3	1	2	3	4	5
12 死後のケア	1	2	3	1	2	3	4	5
13 診療介助 (診察の介助、準備、後片付け)	1	2	3	1	2	3	4	5
14 医師とのやりとり (指示受け、患者や家族に関する連絡・報告・相談)	1	2	3	1	2	3	4	5
15 入院 (オリエンテーション、病歴等の聴取等)	1	2	3	1	2	3	4	5
16 退院調整 (他職種や外部・他機関との調整等)	1	2	3	1	2	3	4	5
17 患者及び家族への退院指導 (医療技術や日常生活の教育・指導等)	1	2	3	1	2	3	4	5
18 患者及び家族への心理的支援 (病状や治療等の不安に対する心理的ケア)	1	2	3	1	2	3	4	5
19 看護記録 (退院サマリー含む) の記載	1	2	3	1	2	3	4	5
20 電子カルテ等からの患者についての情報収集	1	2	3	1	2	3	4	5
21 看護職間や他職種とのカンファレンス	1	2	3	1	2	3	4	5
22 会議や委員会	1	2	3	1	2	3	4	5
23 事務的業務 (物品等の請求、伝票の処理等)	1	2	3	1	2	3	4	5
24 病棟管理している定時薬の入れ替え (患者別に薬の種類と数の確認、セット等)	1	2	3	1	2	3	4	5
25 院内の教育・研修	1	2	3	1	2	3	4	5
26 その他 ( )	1	2	3	1	2	3	4	5
27 その他 ( )	1	2	3	1	2	3	4	5
28 その他 ( )	1	2	3	1	2	3	4	5

問 1 2 以下の業務のうち、**所定労働時間外に取り組むことが多い業務**の上位5つを、日勤・夜勤それぞれについてお選びください。(○はそれぞれ5つずつ)

	日勤	夜勤
01 食事（食事介助、経管栄養等）		
02 排泄（排便・排尿介助、おむつ交換等）		
03 清潔・整容（清拭、陰部洗浄、口腔ケア等）		
04 体位変換・移乗（車椅子、ベッド等）		
05 寝具やリネンの交換		
06 患者の病棟外への送迎（検査、リハビリ、手術出し・迎え等）		
07 リハビリ（理学療法、作業療法、言語療法等）		
08 患者のADLや行動の見守り・付添（認知症や高次脳機能障害等）		
09 薬物療法（与薬、注射や輸液等の準備・実施・管理、常備薬等の管理等）		
10 緊急入院患者の対応		
11 急変患者の対応		
12 死後のケア		
13 診療介助（診察の介助、準備、後片付け）		
14 医師とのやりとり（指示受け、患者や家族に関する連絡・報告・相談）		
15 入院（オリエンテーション、病歴等の聴取等）		
16 退院調整（他職種や外部・他機関との調整等）		
17 患者及び家族への退院指導（医療技術や日常生活の教育・指導等）		
18 患者及び家族への心理的支援（病状や治療等の不安に対する心理的ケア）		
19 看護記録（退院サマリー含む）の記載		
20 電子カルテ等からの患者についての情報収集		
21 看護職間や他職種とのカンファレンス		
22 会議や委員会		
23 事務的業務（物品等の請求、伝票の処理等）		
24 病棟管理している定時薬の入れ替え（患者別に薬の種類と数の確認、セット等）		
25 院内の教育・研修		
26 申し送り		
27 その他（ ）		
28 その他（ ）		
29 その他（ ）		



■貴病棟における看護職員の負担軽減策の取り組み状況と負担軽減の効果についてお伺いします。

問 1 3 貴病棟における看護職員の負担軽減策と効果の実感についてお伺いします。							
(1) 貴病棟で <b>実施中の取り組み</b> に○をつけてください。(○はいくつでも)							
(2) 上記で○をつけた実施中の取り組みについて、あなたの感じる <b>負担軽減策の効果</b> を5段階で評価し、該当する番号に○をつけてください。(それぞれ○は1つ)							
	(1)		(2) 負担軽減効果				
	取 り 組 み に ○	実 施 中 の ○	効 果 が な か つ た	ど ち ら か と い え ば 効 果 が な か つ た	ど ち ら と も い え な い	ど ち ら か と い え ば 効 果 が あ つ た	効 果 が あ つ た
(記入例) 03 病棟クラークの配置	○	→	1	2	3	④	5
01 看護補助者の導入・業務分担		→	1	2	3	4	5
02 薬剤師の病棟配置・業務分担		→	1	2	3	4	5
03 病棟クラークの配置		→	1	2	3	4	5
04 その他コメディカルとの業務分担		→	1	2	3	4	5
05 常勤看護職員の増員		→	1	2	3	4	5
06 非常勤看護職員の増員		→	1	2	3	4	5
07 夜勤専従者の雇用		→	1	2	3	4	5
08 短時間正規雇用の看護職員の活用		→	1	2	3	4	5
09 2交代・3交代制勤務の見直し		→	1	2	3	4	5
10 シフト間隔の見直し		→	1	2	3	4	5
11 長時間連続勤務を行わない勤務シフト体制		→	1	2	3	4	5
12 超過勤務を行わない業務配分		→	1	2	3	4	5
13 栄養サポートチームによる介入		→	1	2	3	4	5
14 呼吸ケアチームによる介入		→	1	2	3	4	5
15 夜間の緊急入院患者を直接病棟で受け入れなくとも済む仕組み (例) 救急外来等の空床での夜間緊急入院患者の受け入れ等		→	1	2	3	4	5
16 その他 ( )		→	1	2	3	4	5
17 その他 ( )		→	1	2	3	4	5
18 その他 ( )		→	1	2	3	4	5

問14 貴病棟における**医師との業務分担状況**についてお伺いします。

(1) 各業務のうち、医師の指示の下、**看護職員が実施しているもの**に○をつけてください。

(○はいくつでも)

(2) 上記(1)で○をつけた業務について、**業務負担感**を5段階で評価し、該当する番号に○をつけてください。(それぞれ○は1つ)

(3) 各業務のうち、**医師との業務分担を看護職員以外の職員で推進する必要がある**とお考えのものについて、当該業務の欄に○をつけてください。(○はいくつでも)

	(1)		(2) 業務負担感					(3)
	○	→	非常に負担が小さい	負担が小さい	どちらともいえない	負担は大きい	非常に負担が大きい	今後更に業務分担を推進する必要があるものに○
(記入例) 02 静脈注射	○	→	1	2	3	④	5	○
01 採血		→	1	2	3	4	5	
02 静脈注射		→	1	2	3	4	5	
03 留置針によるルート確保		→	1	2	3	4	5	
04 薬剤の投与量の調整		→	1	2	3	4	5	
05 診断書、診療記録及び処方箋の記載の補助		→	1	2	3	4	5	
06 主治医意見書の記載		→	1	2	3	4	5	
07 診察や検査等の予約オーダーリングシステム入力や電子カルテ入力の代行		→	1	2	3	4	5	
08 救急医療等における診療の優先順位の決定(トリアージの実施)		→	1	2	3	4	5	
09 検査の手順や入院の説明		→	1	2	3	4	5	
10 慢性疾患患者への療養生活等の説明		→	1	2	3	4	5	
11 診察前の事前の面談による情報収集や補足的な説明		→	1	2	3	4	5	
12 カンファレンスの準備等の調整業務		→	1	2	3	4	5	
13 患者の退院に係る調整業務		→	1	2	3	4	5	
14 その他 ( )		→	1	2	3	4	5	
15 その他 ( )		→	1	2	3	4	5	
16 その他 ( )		→	1	2	3	4	5	

(3) は現在看護職員が業務を実施しているか否かに関わらず、全ての業務について、今後業務分担を更に推進する必要があるかどうかをご検討のうえ、ご回答ください

問15 貴病棟における**看護補助者との業務分担状況**についてお伺いします。

(1) 各業務のうち、**看護補助者が実施しているもの**に○をつけてください。

(それぞれ○は1つ)

(2) 上記(1)で○をつけた業務について、**業務負担感**を5段階で評価し、該当する番号に○をつけてください。(それぞれ○は1つ)

	(1) 分担推進状況					(2) 負担軽減への効果				
	看護補助者がすべて担っている	看護補助者がほぼ担っている	看護補助者が一部担っている	看護補助者が今後推進予定	分担推進していません 分担任予定なし	効果がなかった	どちらかといえば効果がなかった	どちらともいえない	どちらかといえば効果があった	効果があった
(記入例) 05 寝具やリネンの交換	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
01 食事(食事介助、配下膳等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
02 排泄(排便・排尿介助、おむつ交換等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
03 清潔・整容(清拭、陰部洗浄、口腔ケア等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
04 体位変換・移乗(車椅子、ベッド等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
05 寝具やリネンの交換	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
06 患者の病棟外への送迎(検査、リハビリ等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
07 入院(オリエンテーション等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
08 患者のADLや行動の見守り・付添(認知症や高次脳機能障害等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
09 事務的業務(物品等の請求、伝票の処理等)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
10 その他( )	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
11 その他( )	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
12 その他( )	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

問16 貴病棟における**看護補助者以外の職種との業務分担状況**についてお伺いします。

(1) 各業務の**他職種との業務分担推進の取り組み状況**について該当する番号に○をつけてください。  
(それぞれ○は1つ)

(2) 業務分担を推進している場合(上記(1)で1に○をつけた場合)、あなたの感じる**負担軽減の効果**について5段階で評価し、該当する番号に○をつけてください。(それぞれ○は1つ)

	(1) 分担推進状況			(2) 負担軽減への効果				
	他職種と業務分担している	分担推進していませんが今後推進予定	分担推進していませんが今後予定なし	効果がなかった	どちらかといえば効果がなかった	どちらともいえない	どちらかといえば効果があった	効果があった
(記入例) 04 体位変換・移乗(車椅子、ベッド等)	①	2	3	1	2	3	④	5
01 食事(食事介助、経管栄養等)	1	2	3	1	2	3	4	5
02 排泄(排便・排尿介助、おむつ交換等)	1	2	3	1	2	3	4	5
03 清潔・整容(清拭、陰部洗浄、口腔ケア等)	1	2	3	1	2	3	4	5
04 体位変換・移乗(車椅子、ベッド等)	1	2	3	1	2	3	4	5
05 寝具やリネンの交換	1	2	3	1	2	3	4	5
06 患者の病棟外への送迎(検査、リハビリ等)	1	2	3	1	2	3	4	5
07 リハビリ(理学療法、作業療法、言語療法等)	1	2	3	1	2	3	4	5
08 患者のADLや行動の見守り・付添(認知症や高次脳機能障害等)	1	2	3	1	2	3	4	5
09 薬物療法(与薬、注射や輸液等の準備・実施・管理、常備薬等の管理等)	1	2	3	1	2	3	4	5
10 診療介助(診察の介助、準備、後片付け)	1	2	3	1	2	3	4	5
11 入院(オリエンテーション、病歴等の聴取等)	1	2	3	1	2	3	4	5
12 退院調整(他職種や外部・他機関との調整等)	1	2	3	1	2	3	4	5
13 事務的業務(物品等の請求、伝票の処理等)	1	2	3	1	2	3	4	5
14 病棟管理している定時薬の入れ替え(患者別に薬の種類と数の確認、セット等)	1	2	3	1	2	3	4	5
15 その他( )	1	2	3	1	2	3	4	5
16 その他( )	1	2	3	1	2	3	4	5
17 その他( )	1	2	3	1	2	3	4	5

問 1 7 貴病棟では**薬剤師が病棟に配置**されていますか。

01 配置されている (→問 1 7-1, 1 7-2 へ)

02 配置されていない (→問 1 8 へ)

問 1 7-1 **病棟薬剤師が担っている業務と連携内容**として該当する番号全てに○をつけてください。(○はいくつでも)

- |                         |                       |
|-------------------------|-----------------------|
| 01 持参薬の管理               | 02 効果・副作用等の確認         |
| 03 薬剤師と共にカンファレンスや回診への参加 | 04 患者等への薬剤に関する説明等の実施  |
| 05 配薬                   | 06 薬剤のミキシング (抗がん剤を除く) |
| 07 抗がん剤のミキシング           | 08 病棟配置薬の管理           |
| 09 その他 ( )              |                       |

問 1 7-2 **病棟薬剤師の配置による効果**として該当する番号全てに○をつけてください。(○はいくつでも)

- |                                  |                          |
|----------------------------------|--------------------------|
| 01 看護職員の薬剤関連業務の負担が軽減した           | 02 速やかに必要な情報を把握できるようになった |
| 03 薬剤関連のインシデントが減少した              | 04 服薬支援がより適切に行われるようになった  |
| 05 病棟職員の薬物療法・服薬指導に対する理解・スキルが向上した |                          |
| 06 患者の直接ケア時間が増えた                 | 07 その他 ( )               |

問 1 8 看護職員にどのような勤務形態を導入すべきかについて議論があります。

(1) あなたはどのような勤務形態が望ましいと思いますか。(○はいくつでも)

- |                       |                         |                        |                         |
|-----------------------|-------------------------|------------------------|-------------------------|
| 01 2交代制 <sup>注1</sup> | 02 変則2交代制 <sup>注2</sup> | 03 3交代制 <sup>注3</sup>  | 04 変則3交代制 <sup>注4</sup> |
| 05 日勤のみ               | 06 夜勤のみ                 | 07 短時間勤務 <sup>注5</sup> | 08 その他 ( )              |

(2) (1) でその勤務形態を選んだ理由や、勤務形態についてのあなたの自由なご意見をお書き下さい。

注 1. **2交代制**：日勤・夜勤が 12 時間ずつの交代勤務をいいます。

注 2. **変則 2交代制**：日勤 8 時間、夜勤 16 時間といった日勤・夜勤の各時間帯の勤務時間の長さが異なる交代勤務をいいます。

注 3. **3交代制**：日勤・準夜勤・深夜勤が 8 時間ずつの交代勤務をいいます。

注 4. **変則 3交代制**：日勤 9 時間、準夜勤 7 時間、深夜勤 8 時間といった日勤・準夜勤・深夜勤の各時間帯の勤務時間の長さが異なる交代勤務をいいます。

注 5. **短時間勤務**：雇用形態を問わず、貴施設における所定労働時間よりも短い時間での勤務をいいます。

問 1 9 今後**看護職員の負担軽減**のため、どのような対策が必要だと考えますか。(○はいくつでも)

- |               |                 |                           |
|---------------|-----------------|---------------------------|
| 01 職員配置の増員 ⇒  | 11 医師の増員        | 12 看護職員の増員                |
|               | 13 その他コメディカルの増員 | 14 医師事務作業補助者の増員           |
|               | 15 看護補助者の増員     | 16 チーム医療スタッフの配置           |
|               | 17 病棟薬剤師の配置     |                           |
|               | 02 経済面での処遇改善    | 03 他職種との業務分担の見直し          |
|               | 04 チーム医療の推進     | 05 2交代勤務・3交代勤務などの勤務形態の見直し |
|               | 06 労働時間管理の適正化   | 07 休暇の取得促進                |
| 08 負担軽減策は必要ない | 09 その他 ( )      |                           |

問20 看護職員の負担軽減策に関するご意見をご自由にお書きください。

調査は以上です。ご協力有難うございました。

診療報酬改定の結果検証に係る調査（平成23年度調査）  
**病院勤務医の負担軽減の状況調査（薬剤師病棟業務実態調査）**

- 特に指定がある場合を除いて、平成23年〇月〇日現在の状況についてお答えください。
- 数値を記入する設問で、該当するもの・施設等が無い場合は「0」（ゼロ）をご記入ください。

■本調査票のご記入日・ご記入者について下表にご記入下さい。

調査票ご記入日	平成23年（ ）月（ ）日	
ご記入担当者名		
ご所属		
連絡先電話番号		連絡先 FAX 番号

1. 施設の状況（平成23年●月の状況）

開設主体	1. 国立      2. 公立      3. 公的      4. 社会保険関係団体 5. 医療法人   6. 個人      7. 学校法人   8. その他の法人					
許可病床数 （医療法）	一般病床 床	療養病床 床	精神病床 床	結核病床 床	感染症病床 床	計 床
病院の種別 ※あてはまる番号すべてに○	1. 特定機能病院		2. 地域医療支援病院			
	3. 小児救急医療拠点病院		4. 災害拠点病院			
	5. がん診療連携拠点病院		6. その他（具体的に ）			
薬剤師数（病棟業務を行っていない者も含む。） ※常勤換算方法 （非常勤職員の1週間の勤務時間）÷（貴薬剤部が 定めている常勤職員の1週間の勤務時間）	常勤		非常勤			
			在籍数		常勤換算後	
	人		人		人	
職員数（薬剤師数を除く。）	常勤		非常勤（在籍数）			
全職員数			人		人	
医師			人		人	
薬剤師（再掲）			人		人	
看護職員			人		人	
その他職員			人		人	
1週間の処方せん枚数（●月●日～●月●日）	院外		院内			
	延べ 枚		延べ 枚			

2. 薬剤師の勤務状況（平成23年●月の状況）

当直・夜勤							
薬剤師の当直の有無			1 あり		2 なし		
薬剤師の当直の頻度（当直・夜勤ありの場合）			週当たり延べ（ ）人				
業務を行う場所及びその場所で業務を行う薬剤師数							
常勤	調剤所	DI室	手術室	検査部門	ICU・HCU	病棟	その他
専任	人	人	人	人	人	人	人
兼任	人	人	人	人	人	人	人
非常勤	調剤所	DI室	手術室	検査部門	ICU・HCU	病棟	その他
専任	人	人	人	人	人	人	人
兼任	人	人	人	人	人	人	人
常勤換算後	人	人	人	人	人	人	人
週当たり延べ業務時間 （当直時間を含む。）	調剤所	DI室	手術室	検査部門	ICU・HCU	病棟	その他
	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間

- ※1 土日祝日の連続宿直は各日をそれぞれ当直1回とカウントする。
- ※2 1人の薬剤師が兼任して複数の場所で業務を行っている場合、各々で1人とカウントする。
- ※3 「調剤所」には、薬品管理室、製剤室、薬務室等を含む。
- ※4 「専任」とは、その業務だけに従事することを指す。
- ※5 「兼任」とは、その業務以外の業務にも従事することを指す。

3. 治療薬物モニタリング（TDM）業務

TDM業務の実施形態	1 院内で実施		2 院外に発注（外注）	
TDM業務を実施している院内部門 （院内で実施している場合のみ） ※あてはまる番号すべてに○	1 検査部門	2 病棟	3 調剤所	4 その他 （ ）
TDM業務の実施内容 ※あてはまる番号すべてに○	1 測定 2 解析	1 測定 2 解析	1 測定 2 解析	1 測定 2 解析
TDM業務を実施している者 ※あてはまる番号すべてに○	1 薬剤師 2 臨床検査技師 3 医師 4 その他	1 薬剤師 2 臨床検査技師 3 医師 4 その他	1 薬剤師 2 臨床検査技師 3 医師 4 その他	1 薬剤師 2 臨床検査技師 3 医師 4 その他
院外に発注しているTDM業務 ※あてはまる番号すべてに○	1 測定		2 解析	
TDM業務実施件数	件（●月合計）			

4. 薬剤師による無菌製剤処理業務

無菌製剤処理の対象としている 薬剤 ※あてはまる番号すべてに○	1 抗悪性腫瘍剤 2 中心静脈栄養（TPN） 3 無菌治療室での治療が必要な患者（白血病等）に投与される薬剤 4 上記1～4以外の注射薬（具体的薬剤）		
無菌調剤を実施している場所 ※あてはまる番号すべてに○	1 調剤所	2 病棟	3 その他（ ）
無菌調剤を実施している者	1 全ての無菌調製を薬剤師		2 医師又はその指示を受けた看護師
無菌製剤処理業務実施件数	3 一部の無菌調製を薬剤師 → 薬剤師が実施している割合（ ）%		件（●月合計）



5. ICU又はHCU関連業務

届出病床数	ICU (特定集中治療室)	HCU (ハイケアユニット)
	床	床
薬剤師が行っている ICU 又は HCU 関連業務 ※あてはまる番号すべてに○	1 ICU 又は HCU で使用する薬の処方提案 2 注射薬の用法用量、相互作用についての監査 3 麻薬・向精神薬・筋弛緩薬の管理 4 麻酔薬 (液・ガス) 管理 5 医療材料管理 6 薬剤のミキシングやシリンジ充填 7 回診やカンファレンスへの参加を通じた患者情報の共有や提供 8 投与量や投与速度の算出 9 術後感染予防薬の処方監査 10 使用薬の確認・照合 11 医薬品カート等による医薬品のセット管理 12 その他 ( ) 13 薬剤師は手術関連業務を実施せず	
上記で行っていないとした項目 (13 を選択した場合を含む。) について、薬剤師が実施していない理由	1 薬剤師が今後実施するよう検討中のため 2 業務量に見合った薬剤師数が配置されていないため → (1 週間あたりの業務に必要な理想薬剤師数 × 理想業務時間 = ) 3 他の職種が実施しており、薬剤師による実施の要請がないため 4 その他 ( )	

6. 手術関連業務

年間手術件数 (平成●年●月●日～平成●年●月●日)	延べ	件
薬剤師が行っている手術関連業務 ※あてはまる番号すべてに○	1 手術室で使用する薬の処方の提案 2 注射薬の用法用量、相互作用についての監査 3 麻薬・向精神薬・筋弛緩薬の管理 4 麻酔薬 (液・ガス) 管理 5 医療材料管理 6 薬剤のミキシングやシリンジ充填 7 回診やカンファレンスへの参加を通じた患者情報の共有や提供 8 投与量や投与速度の算出 9 術後感染予防薬の処方監査 10 使用薬の確認・照合 11 医薬品カート等による医薬品のセット管理 12 その他 ( ) 13 薬剤師は手術関連業務を実施せず	
上記で行っていないとした項目 (13 を選択した場合を含む。) について、薬剤師が実施していない理由	1 薬剤師が今後実施するよう検討中のため 2 業務量に見合った薬剤師数が配置されていないため → (1 週間あたりの業務に必要な理想薬剤師数 × 理想業務時間 = ) 3 他の職種が実施しており、薬剤師による実施の要請がないため 4 その他 ( )	

7. 持参薬関連業務

入院患者が持参した薬の利用状況	1 利用する 2 利用しない 3 DPCの対象患者ごとに利用するかしないか判断する 4 患者の病態に応じて利用するかしないか判断する 5 その他 ( )
持参薬の鑑別業務の実施状況	1 薬剤師が行う 2 医師と薬剤師が共同で行う 3 薬剤師と看護師が共同で行う 4 医師が行う 5 看護師が行う 6 医師と看護師が共同で行う 7 1～6以外 (誰がどのように )
持参薬を管理している者	1 病棟の薬剤師 2 調剤所の薬剤師 3 患者本人 4 医師又はその指示を受けた看護師 5 患者毎に判断 6 その他 ( )
持参薬の確認後の対応 ※あてはまる番号すべてに○	1 持参薬確認に基づく情報を、調剤所にいる薬剤師に情報提供している。 2 持参薬確認に基づく情報を、カンファレンスや回診等で他の医療スタッフに情報提供している。 3 入院中の手術・検査・治療に対する持参薬の影響 (相互作用、重複等を含む)などを考慮した上で、医師に対して、患者の病態に適した処方 の提案を行っている。 4 その他 ( )

8. 病棟における薬剤関連業務の状況（病棟が複数ある場合は、全ての病棟について別シートに分けてご記入ください。）

<病棟番号（ ）>

この病棟に含まれる診療科 ※ 混合病棟の場合、あてはまる番号すべてに○	1 救急部・科	2 内科	3 精神科		
	4 神経科	5 神経内科	6 呼吸器科		
	7 消化器科	8 循環器科	9 小児科		
	10 外科	11 整形外科	12 形成外科		
	13 脳神経外科	14 呼吸器外科	15 心臓血管外科		
	16 小児外科	17 皮膚科	18 泌尿器科		
	19 産婦人科	20 産科	21 婦人科		
	22 眼科	23 耳鼻咽喉科	24 放射線科		
	25 麻酔科	26 心療内科	27 アレルギー科		
	28 リウマチ科	29 リハビリテーション科	30 歯科		
31 その他（科）					
この病棟の種別		1 一般病棟	2 療養病棟	3 結核病棟	4 精神病棟
入院基本料		1 7対1	2 10対1	3 13対1	4 15対1
DPCの対象となる病棟		5 18対1	6 20対1	7 その他	
この病棟の病床数		1 該当 2 非該当			
この病棟の延べ入院患者数（●月合計）		この病棟全体の患者数		うち、DPCで算定された患者数	
		人		人	
この病棟に入院している患者1人あたりの平均在院日数（●月退院分）（小数第二位を四捨五入）		日		日	
薬剤管理指導料が包括された延べ入院患者数 <sup>(注)</sup> （●月合計）				人	
悪性腫瘍（白血病等を含む。）を罹患している延べ入院患者数（●月合計）				人	
薬剤師の病棟業務実施状況					
この病棟における薬剤師の週当たりの延べ総病棟業務時間（常勤・非常勤、専任・兼任の別にかかわらず）				時間	
この病棟に配置されている全ての薬剤師数（この病棟業務以外の業務を兼任している薬剤師を含む。）		常勤		非常勤	
		人		人	
週当たりの病棟業務時間別の薬剤師数		この病棟専任		この病棟専任	
		兼任		兼任	
8時間未満		人	人	人	人
8時間以上16時間未満		人	人	人	人
16時間以上24時間未満		人	人	人	人
24時間以上32時間未満		人	人	人	人
32時間以上40時間未満		人	人	人	人
40時間以上48時間未満		人	人	人	人
48時間以上		人	人	人	人
兼任薬剤師の延べ業務時間全体に占めるこの病棟業務の延べ時間の割合（%）		%		%	
兼任先（兼任の場合） ※ あてはまる番号すべてに○		1 調剤所	2 DI室	1 調剤所	2 DI室
		3 手術室	4 検査部門	3 手術室	4 検査部門
		5 ICU・HCU		5 ICU・HCU	
		6 この病棟以外の病棟		6 この病棟以外の病棟	
		→（兼任病棟数 = 棟）		→（兼任病棟数 = 棟）	
		（注）この病棟を含まない。		（注）この病棟を含まない。	
		7 その他（ ）		7 その他（ ）	
この病棟に配置されている薬剤師の病棟業務の内容及びその割合（%）					
※あてはまる番 病棟における薬剤関連業務（薬剤管理指導業務を除く。）					

号すべてに○を付すととも、病棟業務全体に対するその業務の概ねの割合を右欄に記入	1	薬物療法プロトコルについて提案、協働で作成、協働で進行管理	約	%
	2	患者の状態に応じた積極的な新規・変更処方の提案又は同一処方継続可否の提案	約	%
	3	患者の状態観察に基づく薬効・副作用の確認（TDMの実施の提案等を含む。）と結果の医師への伝達	約	%
	4	持参薬の確認・評価とそれを考慮した服用計画の提案	約	%
	5	抗がん剤等の無菌調製	約	%
	6	保険薬局への情報提供（退院時共同指導も含む。）	約	%
	7	他の医療スタッフへの助言や相談への応需	約	%
	8	注射薬の投与準備（非無菌調製）	約	%
	9	医薬品管理業務（病棟配置薬の管理等）	約	%
	10	配薬（患者に薬を配る機会を通じた状況把握）	約	%
	11	カンファレンスへの参加	約	%
	12	回診への同行	約	%
	13	NST業務、ICT業務等への対応	約	%
	14	行政への副作用報告、治験の実施等に関連する業務	約	%
	15	患者又はその家族への使用薬剤等に関する説明・面談	約	%
	16	その他（ ）	約	%
	合 計			100%
17 薬剤管理指導以外の病棟業務は実施していない				
薬剤管理指導業務の実施状況				
1 薬剤管理指導業務を実施している		2 薬剤管理指導業務を実施していない		
→（実施対象患者の割合 = 約 %）				
業務比率	病棟における薬剤関連業務（薬剤管理指導業務を除く。）：薬剤管理指導業務 = :			
この病棟で行われるカンファレンスへの薬剤師の参加状況	1 ほぼ全てに参加している（概ね8割以上） 2 状況に応じて参加している（概ね2割以上8割未満） 3 ほとんど参加していない（概ね2割未満）			
この病棟で行われる医師の回診への薬剤師の同行状況	1 ほぼ全てに同行している（概ね8割以上） 2 状況に応じて参加している（概ね2割以上8割未満） 3 ほとんど参加していない（概ね2割未満）			
上記で行っていないとした項目（薬剤師が病棟業務を実施していない場合を含む。）について、実施していない理由 ※4を選択した場合、（ ）内に具体的に理由を記載	1 薬剤師が今後実施するよう検討中のため 2 業務量に見合った薬剤師数が配置されていないため →（1週間あたりの業務に必要な理想薬剤師数×理想業務時間 = ） 3 薬剤師による実施の要請がないため 4 その他（ ）			
この病棟における総インシデント数（平成22年●月から平成23年●月までの1年間の合計）			件	
うち薬剤に関するインシデント数（平成22年●月から平成23年●月までの1年間の合計）			件	
この病棟における持参薬関連業務（●月入院患者分）				
持参薬関連業務の実施状況	持参薬の確認等を行った患者数		持参薬の確認等を行った患者の割合	
	人		%	
持参薬の利用により実際に削減された薬剤費			円	

（注）薬剤管理指導料が特定入院料に包括されている患者数。特定入院料算定病床とは、特殊疾患入院医療管理料、小児入院医療管理料、回復期リハビリテーション病棟入院料、特殊疾患療養病棟入院料、緩和ケア病棟入院料、精神科救急入院料、精神科急性期治療病棟入院料、精神科療養病棟入院料、老人性認知症治療病棟入院料を算定している病床を指す。

※1 「この病棟専任」とは、この病棟の担当薬剤師であって、この病棟における業務だけに従事することを指す。

※2 「兼任」とは、この病棟における業務以外の業務にも従事することを指す。

※3 転棟者の場合、最初の病棟へ入院した日をこの病棟へ入院した日とみなし、平均在院日数の計算にあたっては、この病棟から退院等した患者のみを集計する。

※4 平均在院日数の計算については、初日不算入とする。

診療報酬改定の結果検証に係る調査（平成23年度調査）  
**病院勤務医の負担軽減の状況調査（薬剤師病棟業務実態調査）**

- 特に指定がある場合を除いて、平成23年〇月〇日現在の状況についてお答えください。
- 数値を記入する設問で、該当するもの・施設等が無い場合は「0」（ゼロ）をご記入ください。

1. 回答者ご本人の状況についてお伺いします。

性別	1. 男性	2. 女性	年齢	( ) 歳
医師経験年数	( ) 年	この病院での勤続年数	( ) 年	
主たる担当診療科 ※〇は1つだけ	1 内科	2 外科	3 整形外科	
	4 脳神経外科	5 小児科	6 産科・婦人科	
	7 精神科	8 眼科	9 皮膚科	
	10 救急科	11 麻酔科		
	12 その他 ( ) 科)			
勤務形態	1 常勤	2. 非常勤		
役職等	1 管理職（科長以上）	2 管理職以外のスタッフ医師	3 臨床研修医	
	4 専門研修医（後期）	5 研究員	6 大学院生	
	7 その他（具体的に )			

2. 薬剤師の病棟業務によるメリット ※薬剤師が病棟に配置されている場合にのみご回答ください。

病棟に配属された薬剤師の業務	医師（又は看護師）の負担軽減・医療の質の向上につながると思われるもの		実際に薬剤師が行っているもの	
薬物療法プロトコルについて提案、協働で作成、協働で進行管理	1 該当	2 非該当	1 該当	2 非該当
患者の状態に応じた積極的な新規・変更処方の提案又は同一処方継続可否の提案	1 該当	2 非該当	1 該当	2 非該当
患者の状態観察に基づく薬効・副作用の確認（TDMの実施の提案等を含む。）と結果の医師への伝達	1 該当	2 非該当	1 該当	2 非該当
持参薬の確認・評価とそれを考慮した服用計画の提案	1 該当	2 非該当	1 該当	2 非該当
抗がん剤等の無菌調製	1 該当	2 非該当	1 該当	2 非該当
保険薬局への情報提供（退院時共同指導も含む。）	1 該当	2 非該当	1 該当	2 非該当
他の医療スタッフへの助言や相談への応需	1 該当	2 非該当	1 該当	2 非該当
注射薬の投与準備（非無菌調製）	1 該当	2 非該当	1 該当	2 非該当
医薬品管理業務（病棟配置薬の管理等）	1 該当	2 非該当	1 該当	2 非該当
配薬（患者に薬を配る機会を通じた状況把握）	1 該当	2 非該当	1 該当	2 非該当
カンファレンスへの参加	1 該当	2 非該当	1 該当	2 非該当
回診への同行	1 該当	2 非該当	1 該当	2 非該当
NST 業務、ICT 業務等への対応	1 該当	2 非該当	1 該当	2 非該当
行政への副作用報告、治験の実施等に関連する業務	1 該当	2 非該当	1 該当	2 非該当
患者又はその家族への使用薬剤等に関する説明・面談	1 該当	2 非該当	1 該当	2 非該当

3. 薬剤師の病棟への配置による影響 ※薬剤師が病棟に配置されている場合にのみご回答ください。

薬剤師が病棟へ配置されることとなった時期	1 平成21年度以前	2 平成22年度	3 平成23年度以降
薬剤師が病棟へ配置されたことによる影響 （配置前との比較） ※自由記載			

4. 薬剤師が病棟で業務する場合の課題 ※自由記載

診療報酬改定の結果検証に係る調査（平成23年度調査）  
**病院勤務医の負担軽減の状況調査（薬剤師病棟業務実態調査）**

- 特に指定がある場合を除いて、平成23年〇月〇日現在の状況についてお答えください。
- 数値を記入する設問で、該当するもの・施設等が無い場合は「0」（ゼロ）をご記入ください。

1. 回答者ご本人の状況についてお伺いします。

性別	1. 男性                      2. 女性		年齢	(            ) 歳			
薬剤師経験年数	(            ) 年		この病院での勤続年数	(            ) 年			
勤務形態	1. 常勤                      2. 非常勤						
週当たりの業務時間（残業時間及び当直時間を含む。）	調剤所 時間	DI室 時間	手術室 時間	検査部門 時間	ICU・HCU 時間	病棟 時間	その他 時間

※1 「調剤所」には、薬品管理室、製剤室、薬務室等を含む。

※2 病棟における業務時間とは、入院患者（その家族を含む。）に対し、直接行う指導等や病棟での医師や看護師の支援業務、医師や看護師への医薬品情報の提供、病棟患者に係るカンファレンス、その他下表に掲げる業務等を行っている時間を指す。

下表 薬剤師の病棟業務の例
1 薬物療法プロトコルについて提案、協働で作成、協働で進行管理
2 患者の状態に応じた積極的な新規・変更処方提案又は同一処方継続可否の提案
3 患者の状態観察に基づく薬効・副作用の確認（TDMの実施の提案等を含む。）と結果の医師への伝達
4 持参薬の確認・評価とそれを考慮した服用計画の提案
5 抗がん剤等の無菌調製
6 保険薬局への情報提供（退院時共同指導も含む。）
7 他の医療スタッフへの助言や相談への応需
8 注射薬の投与準備（非無菌調製）
9 医薬品管理業務（病棟配置薬の管理等）
10 配薬（患者に薬を配る機会を通じた状況把握）
11 カンファレンスへの参加

1 2 回診への同行
1 3 NST 業務、ICT 業務等への対応
1 4 行政への副作用報告、治験の実施等に関連する業務
1 5 患者又はその家族への使用薬剤等に関する説明・面談
1 6 薬剤管理指導業務
1 7 その他病棟で行われる業務

※3 病棟に勤務している時間には、入院患者のため病棟外で行う調剤の時間等は含まず、入院患者やその家族に直接面談している時間は、病棟外で実施した場合であっても含む。

## 2. 薬剤師の病棟業務

病棟に配属された薬剤師の業務	病棟に配置された薬剤師が実施することが望ましいもの		病棟に配置された薬剤師が実際に実施しているもの	
薬物療法プロトコルについて提案、協働で作成、協働で進行管理	1 該当	2 非該当	1 該当	2 非該当
患者の状態に応じた積極的な新規・変更処方案の提案又は同一処方継続可否の提案	1 該当	2 非該当	1 該当	2 非該当
患者の状態観察に基づく薬効・副作用の確認（TDMの実施の提案等を含む。）と結果の医師への伝達	1 該当	2 非該当	1 該当	2 非該当
持参薬の確認・評価とそれを考慮した服用計画の提案	1 該当	2 非該当	1 該当	2 非該当
抗がん剤等の無菌調製	1 該当	2 非該当	1 該当	2 非該当
保険薬局への情報提供（退院時共同指導も含む。）	1 該当	2 非該当	1 該当	2 非該当
他の医療スタッフへの助言や相談への応需	1 該当	2 非該当	1 該当	2 非該当
注射薬の投与準備（非無菌調製）	1 該当	2 非該当	1 該当	2 非該当
医薬品管理業務（病棟配置薬の管理等）	1 該当	2 非該当	1 該当	2 非該当
配薬（患者に薬を配る機会を通じた状況把握）	1 該当	2 非該当	1 該当	2 非該当
カンファレンスへの参加	1 該当	2 非該当	1 該当	2 非該当
回診への同行	1 該当	2 非該当	1 該当	2 非該当
NST 業務、ICT 業務等への対応	1 該当	2 非該当	1 該当	2 非該当
行政への副作用報告、治験の実施等に関連する業務	1 該当	2 非該当	1 該当	2 非該当
患者又はその家族への使用薬剤等に関する説明・面談	1 該当	2 非該当	1 該当	2 非該当



3. 薬剤師の病棟配置によるメリット

薬剤師を病棟に配置し、業務を実施することによるメリット ※あてはまる番号すべてに○	1 薬剤師が回診・カンファレンスに同行し、またベットサイドでバイタルサイン等の患者状態が把握できるので、薬の効果や副作用の情報が速やかに把握できるようになる。
	2 医師の処方発行段階で関与できるので薬物療法の質の向上につながる。
	3 患者の状態（検査値等を含む）・薬剤指示の変更について、リアルタイムに把握できる。
	4 持参薬・服用薬の確認を速やかに行うことで薬学的管理による患者のリスク軽減・回避が可能となる。
	5 病棟にて注射剤の混合調製を実施するため処方追加や変更迅速対応が可能となる。
	6 病棟配置薬や処方薬剤の一元管理ができるため、薬剤取扱上の事故防止に役立つ。
	7 薬に関する医師や看護師の問い合わせに薬剤師が速やかに回答できるため薬物療法の質の向上および信頼関係の構築につながる。
	8 その他（ ）
	9 薬剤師の病棟配置によるメリットはない。

※ 薬剤師が病棟業務を実施しているか否かにかかわらず。

4. 薬剤師が病棟で業務する場合の課題 ※自由記載

平成 23 年 月

開設者様  
管理者様

平成 22 年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査（平成 23 年度調査）  
「病院勤務医の負担軽減の状況調査」へのご協力をお願い

謹啓 時下、皆様におかれましてはますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

さて、平成 22 年 4 月の診療報酬改定により、勤務医の負担を軽減するための取組への評価、また、その一環として実施されたチームによる医療への取組に対する評価など、病院勤務医の負担軽減を目的とした診療報酬の改定が行われました。

今般、中央社会保険医療協議会（以下、中医協）における診療報酬改定結果検証部会のもと、平成 22 年度の診療報酬改定による影響を検証するために、保険医療機関、医師、看護師の方を対象に、職員配置、勤務状況、処遇状況等の実態や、勤務医負担軽減に係る対応策の具体的内容とその効果についての把握を主な目的として、「病院勤務医の負担軽減の状況調査」を実施することになりました。本調査の結果は、中医協における診療報酬改定の結果検証に係る議論のための大変重要な資料となります。

つきましては、ご多用の折、大変恐縮でございますが、本調査の趣旨をご理解の上、ご協力賜りますよう、何卒お願い申し上げます。

なお、本調査は、平成 22 年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査（平成 23 年度調査）事業について厚生労働省から委託を受けた\*\*\*\*\*株式会社様が、この事業を実施し、改定の結果を得る上で必要な調査であるとの判断により実施することを申し添えます。

謹白

「診療報酬改定の結果検証に係る特別調査」事務局  
\*\*\*\*\*株式会社

平成 23 年 月 日（ ）まで

に同封の返信用封筒（切手不要）にてご返送ください

※ 調査対象の選定に際しては、厚生労働省から預託された情報に基づき、無作為に抽出させていただきます。本調査でご回答いただいた情報については取り扱いに十分注意し、統計的に処理するとともに、上記目的以外に使用することは一切ございません。

☆☆☆お問い合わせ先☆☆☆

「診療報酬改定の結果検証に係る特別調査」事務局

\*\*\*\*\*株式会社

E-mail : \*\*\*\*\*

※電話は混み合う可能性がございますので、e-mail でご連絡いただけますと幸いです。  
e-mail でご回答を差し上げるか、折り返し、弊社担当者からお電話をさせていただきます。

TEL : \*\*\*\*\*（受付時間：10：00～17：00）

※ただし、土日・祝日は除きます。

FAX : \*\*\*\*\*

平成 23 年 月

薬剤部長様

平成 22 年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査（平成 23 年度調査）

「病院勤務医の負担軽減の状況調査（薬剤師病棟業務実態調査）」へのご協力をお願い

謹啓 時下、皆様におかれましてはますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

さて、平成 22 年 4 月の診療報酬改定により、病院勤務医の負担軽減を目的とした診療報酬の改定が行われました。また、中央社会保険医療協議会（以下、中医協）の 22 年度答申書附帯意見において、「薬剤師の病棟配置の評価を含め、チーム医療に関する評価について、検討を行うこと」とされており、病棟薬剤師業務は、勤務医負担軽減のためのチーム医療の議論の一環としても議論がなされたところです。

今般、中医協における診療報酬改定結果検証部会のもと、病棟薬剤師業務に関し、病院全般における薬剤師の病棟配置やチーム医療への貢献に関する評価について検証及び検討を行うために、薬剤師の病棟配置や病棟業務に係る実態等を把握することを主な目的として、「病院勤務医の負担軽減の状況調査（薬剤師病棟業務実態調査）」を実施することになりました。本調査の結果は、中医協における診療報酬改定の結果検証等に係る議論のための大変重要な資料となります。

つきましては、ご多用の折、大変恐縮でございますが、本調査の趣旨をご理解の上、ご協力賜りますよう、何卒お願い申し上げます。

なお、本調査は、平成 22 年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査（平成 23 年度調査）事業について厚生労働省から委託を受けた\*\*\*\*\*株式会社が、この事業を実施し、改定の結果を得る上で必要な調査であるとの判断により実施することを申し添えます。

謹白

「診療報酬改定の結果検証に係る特別調査」事務局

\*\*\*\*\*株式会社

平成 23 年 月 日（ ）まで

に同封の返信用封筒（切手不要）にてご返送ください

※ 調査対象の選定に際しては、厚生労働省から預託された情報に基づき、無作為に抽出させていただきました。本調査でご回答いただいた情報については取り扱いに十分注意し、統計的に処理するとともに、上記目的以外に使用することは一切ございません。

☆☆☆お問い合わせ先☆☆☆

「診療報酬改定の結果検証に係る特別調査」事務局

\*\*\*\*\*株式会社

E-mail：\*\*\*\*\*

※電話は混み合う可能性がございますので、e-mail でご連絡いただけますと幸いです。  
e-mail でご回答を差し上げるか、折り返し、弊社担当者からお電話をさせていただきます。

TEL：\*\*\*\*\*（受付時間：10：00～17：00）

※ただし、土日・祝日は除きます。

FAX：\*\*\*\*\*